令和3年度 飛騨市市政世論調査 調査結果報告書

令和3年7月実施

飛騨市

目 次

I 調証	查概要	1
1. 1	調査の目的	1
1. 2	調查項目	
1. 3	調査の設計	1
1. 4	回収結果	1
1. 5	標本誤差	2
1. 6	報告書の見方	2
1. 7	対象者の属性	3
Ⅱ 調査	查結果	7
2. 1	暮らしについて	7
問1	暮らしの前年比較	7
問1-	- 2 暮らしが苦しくなったと感じる理由	10
問2	暮らしの満足度	15
問3	生活面での不安	18
問4	今後の暮らしの中で重視していきたいこと	26
問5	生活に必要な情報の入手媒体	34
問6	現在住んでいる地域は住みやすいか	44
問6-	-2 住んでいる地域が住みやすいと感じる点	47
問6-	-3 住んでいる地域が住みにくいと感じる点	53
問7	今後も飛騨市に住み続けたいか	59
2. 2	市の取り組み全般について	63
問8	施策や事業についての情報の入手方法	63
問9	市事業への関心の有無	73
問9-	-2 市事業に関心がない理由	76
問1 C	つ 市の取り組みでよくやっていると思う分野、努力が足りない	と思う分野、
	重点的に進めるべきだと思う分野	81
問11	1 自由意見	105
問12	2 自由意見	108
Ⅲ 資制	料	109
3. 1	単純集計結果	
- •	調査票	

I 調査概要

1. 1 調査の目的

飛騨市民の意識、興味、関心、満足度などの経年変化を調査し、市政運営の基礎資料と する。

1. 2 調査項目

- (1) 暮らしについて
- (2) 市の取り組み全般について

1. 3 調査の設計

(1)調査地域 飛騨市全域

(2)調査対象 飛騨市内在住の満16歳以上の男女個人(約20,00人)

(3)標本数 2,000人

(4) 抽出方法 層化二段無作為抽出法

(5)調査方法 郵送法

(6) 調査時期 令和3年7月6日~7月26日

(7) 調査実施機関 株式会社 中部タイム・エージェント

1. 4 回収結果

標本数	回収数	回収数 有效回答数 回収率		
(A)	(B)	(C)	(B/A)	(C/A)
2,000	1, 336	1, 334	66.8%	66. 7%

1.5 標本誤差

調査結果には統計上多少の誤差が生じることがあるため、調査結果をみる場合、一定の幅を持たせてみる必要がある。その幅を標本誤差といい、以下の式で表される。

標本誤差=
$$\pm 1.96$$
 P (100 $-P$) (ただし、 P :回答比率 n :回答者数)

すなわち、標本誤差の幅は①回答者数 (n) 及び②回答比率 (P) によって異なる。上式を用いた各回答者数、回答比率における標本誤差を以下の表に示す。

		P (回答比率 %)									
	n(回答者数 人)	5又 は95	10 又 は 90	15 又 は85	20 又 は80	25 又 は75	30 又 は70	35 又 は65	40 又 は60	45 又 は55	50
総数	1, 334	1.2	1.6	1. 9	2. 1	2. 3	2. 5	2. 6	2.6	2. 7	2.7

- (注) 1. 層化を行った場合、誤差は上表より若干増減することもある。
 - 2. この表の見方は以下のとおりである。

「ある設問の回答者数が 1,334 人であり、その設問中の選択肢の回答比率が 50%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±2.7%である。」

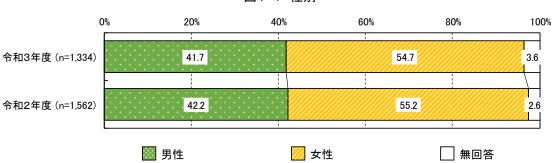
1.6 報告書の見方

- (1) 比率は全てパーセントで表し、小数点第 2 位を四捨五入して算出した。そのため、パーセントの合計が 100.0%にならない場合がある。
- (2) 基数となるべき実数は「n」(件数) として掲載した。したがって比率は、n を 100%として算出している。
- (3) 複数回答が可能な設問では総回答数を「N」として掲載した。その場合、その項目を選んだ人が、回答者全体のうち何%を占めるのかという見方をする。したがって、各項目の比率の合計は、通常 100% を超える。
- (4) 本報告書中の表、グラフ及び本文で使われている選択肢の表現は、本来の意味を 損なわない程度に省略している場合がある。

1.7 対象者の属性

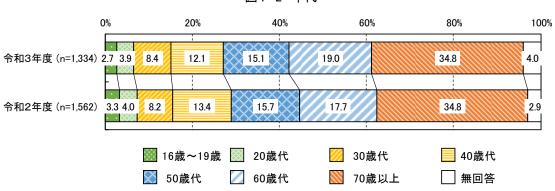
F-1 性別

図 F-1 性別



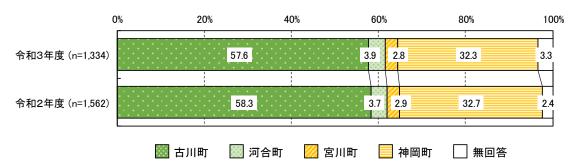
F-2 年代

図 F-2 年代



F-3 居住地

図 F-3 居住地



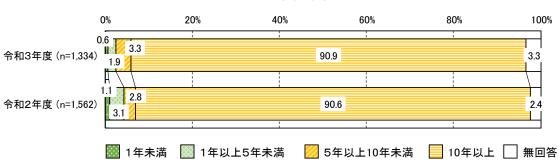
F-4 居住地周囲の環境

図 F-4 居住地周囲の環境



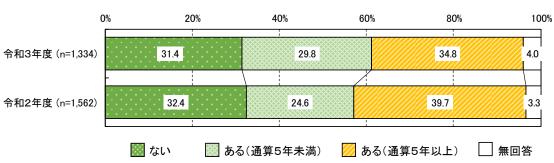
F-5 居住年数

図 F-5 居住年数



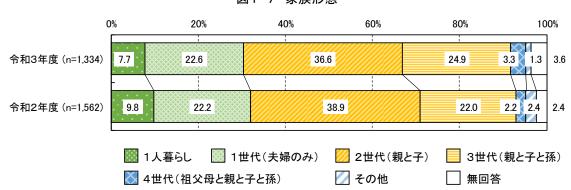
F-6 市外居住経験の有無

図 F-6 市外居住経験の有無



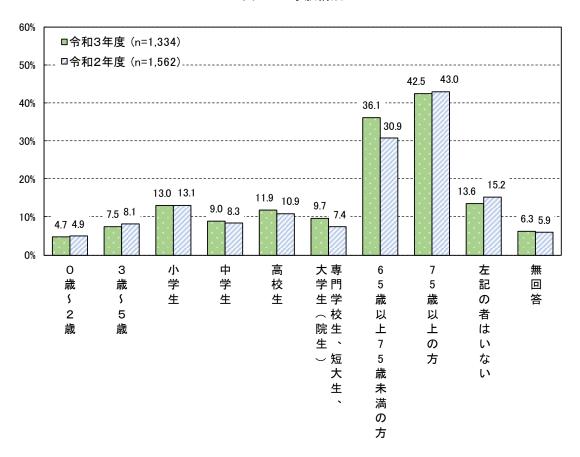
F-7 家族形態

図 F-7 家族形態



F-8 家族構成

図 F-8 家族構成



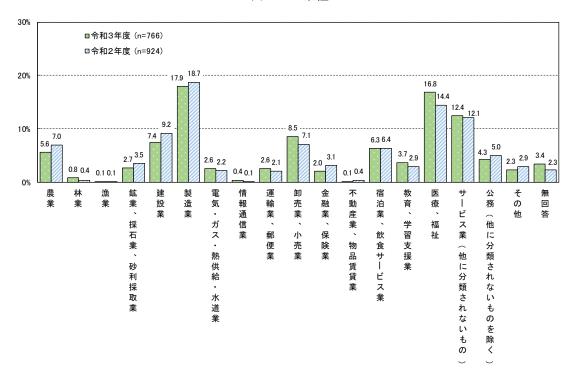
F-9 職業

図 F-9 職業 0% 20% 40% 60% 80% 100% 令和3年度 (n=1,334) 8.8 0.7 11.2 20.1 16.6 2.9 8.8 25.9 0.6 4.4 令和2年度 (n=1,562) 12.0 1.2 10.2 21.3 14.5 3.6 7.6 25.0 1.3 3.3 ■ 自由業※ 自営業 会社·団体役員 ■ 正規の従業員・職員 ◯ パートタイム・アルバイト・派遣 ◯ 学生 📉 家事従事 無職 ■ その他 無回答

※ 自由業:一定の雇用関係によらず、勤務時間その他の制約を受けない職業。作家、弁護士、医師、会計士、 税理士、芸術家など

F-10 業種

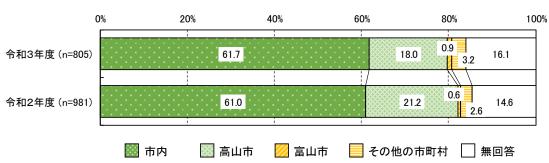
図 F-10 業種



※「F-9 職業」で、自営業、自由業、会社・団体役員、正規の従業員・職員、パートタイム・アルバイト・派遣と答えた方のみ

F-11 通勤、通学先

図 F-11 通勤、通学先



※「F-9 職業」で、自営業、自由業、会社・団体役員、正規の従業員・職員、パートタイム・アルバイト・派遣、学生と答えた方のみ

Ⅱ 調査結果

2. 1 暮らしについて

問1 暮らしの前年比較

問1 あなたやあなたの家庭の暮らし向き(家計など)は、去年の今頃と比べてどうですか。 (1つだけ)

全体(図 1-1)でみると、「変わらない」が 67.4%と最も高く、次いで「苦しくなった」 (28.9%)、「わからない」(2.8%)、「楽になった」(0.6%)の順となっている。

前回比較(図1-1)でみると、前回と同様に「変わらない」が最も高くなっている。

図 1-1 【全体・前回比較】暮らしの前年比較

性別(図 1-2)でみると、男女ともに「変わらない」が最も高く、男性が 67.1%、女性が 67.5%となっている。

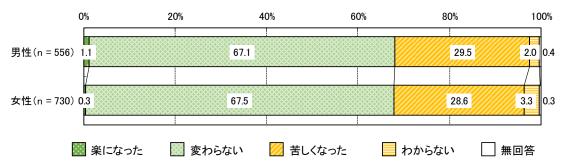


図 1-2 【性別】暮らしの前年比較

年代別(図 1-3)でみると、いずれの年代においても「変わらない」が最も高く、そのうち70歳以上が70.5%と最も高くなっている。「苦しくなった」は、50歳代が38.8%と最も高くなっている。

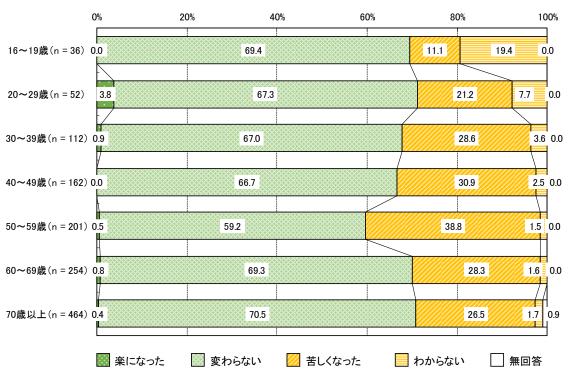


図 1-3 【年代別】暮らしの前年比較

居住地別(図 1-4)でみると、いずれの居住地においても「変わらない」が最も高く、そのうち宮川町が 78.9%と最も高くなっている。「苦しくなった」は、神岡町が 31.8%と最も高くなっている。

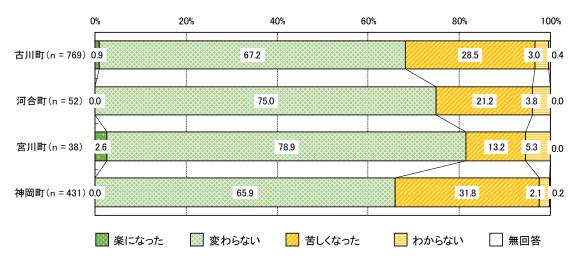


図 1-4 【居住地別】暮らしの前年比較

職業別(図1-5)でみると、いずれの職業においても「変わらない」が最も高く、そのうち正規の従業員・職員が75.0%と最も高くなっている。「苦しくなった」は、パートタイム・アルバイト・派遣が36.7%と最も高くなっている。

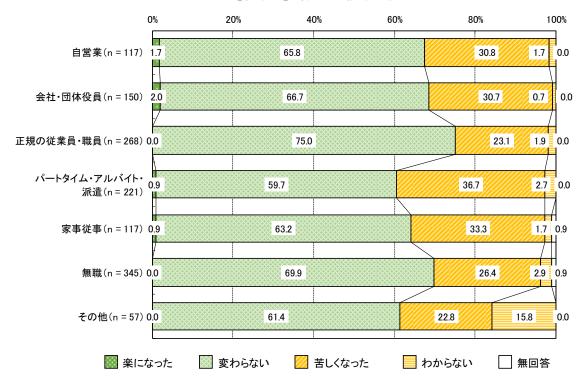


図 1-5 【職業別】暮らしの前年比較

※ その他には、自由業、学生を含む。

問1-2 暮らしが苦しくなったと感じる理由

問1-2 「苦しくなった」と答えた方にお尋ねします。 あなたが、暮らしが苦しくなったと感じるのは、どのような理由からですか。 (3つまで)

全体(図 1-2-1)でみると、「給料等の収入が増えない、または減った」が 61.9%と最も高く、次いで「食品や日用品、光熱費などの物価上昇による支出が増えた」(54.1%)、「医療・介護費の支出が増えた」(36.5%)の順となっている。

前回比較(図 1-2-1)でみると、前回と同様に「給料等の収入が増えない、または減った」が最も高くなっている。「医療・介護費の支出が増えた」は前回に比べて 3.7 ポイント高くなっている。

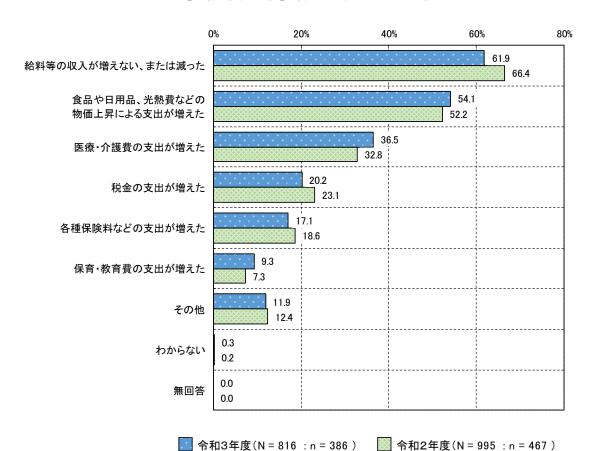


図 1-2-1 【全体・前回比較】 暮らしが苦しくなったと感じる理由

- ※ 問 1 で「苦しくなった」と答えた方のみ
- ※ N=総回答数 n=回答者数

性別(図1-2-2)でみると、男女ともに「給料等の収入が増えない、または減った」が最も高く、男性が64.6%、女性が60.8%となっている。「食品や日用品、光熱費などの物価上昇による支出が増えた」では女性が男性より4.5ポイント高くなっている。「医療・介護費の支出が増えた」では男性が女性より6.6ポイント高くなっている。

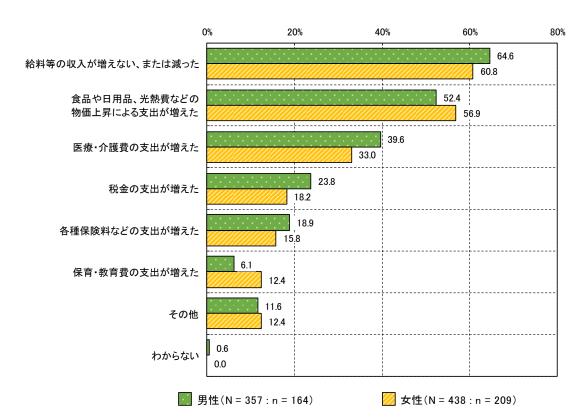


図 1-2-2 【性別】 暮らしが苦しくなったと感じる理由

年代別(図1-2-3)でみると、70歳以上を除くいずれの年代においても「給料等の収入が増えない、または減った」が最も高く、そのうち20歳代が100.0%と最も高くなっている。70歳以上では「食品や日用品、光熱費などの物価上昇による支出が増えた」が59.3%と最も高くなっている。60歳代、70歳以上では「医療・介護費の支出が増えた」が他の年代より高くなっている。

20% 40% 80% 100% 100.0 50.0 81.3 給料等の収入が増えない、または減った 68.0 69.2 68.1 50.0 53.1 食品や日用品、光熱費などの 46.0 物価上昇による支出が増えた 55.1 59.3 25.0 18.8 医療・介護費の支出が増えた 16.0 52.8 25.0 27.3 税金の支出が増えた 20.0 0.0 18.8 各種保険料などの支出が増えた 179 22.8 50.0 18.2 15.6 保育・教育費の支出が増えた 30.0 14.1 0.0 0.8 0.0 0.0 その他 20.0 11.5 **15.3** 10.6 0.0 0.0 わからない 0.0 0.0 0.0 16~19歳(N = 8 : n = 4) 20~29歳(N = 21 : n = 11) 30~39歳(N = 65 : n = 32) 40~49歳(N = 104:n = 50) 60~69歳(N = 159:n = 72) № 70歳以上(N = 262 : n = 123)

図 1-2-3 【年代別】 暮らしが苦しくなったと感じる理由

居住地別(図 1-2-4)でみると、いずれの居住地においても「給料等の収入が増えない、または減った」が最も高く、河合町では「食品や日用品、光熱費などの物価上昇による支出が増えた」においても最も高くなっている。

20% 40% 60% 80% 100% 63.9 545 給料等の収入が増えない、または減った 80.0 60.6 52.5 食品や日用品、光熱費などの 54.5 物価上昇による支出が増えた 40.0 59.1 医療・介護費の支出が増えた 40.0 44.5 税金の支出が増えた 16.1 15.5 18.2 各種保険料などの支出が増えた 60.0 18.2 11.4 18.2 保育・教育費の支出が増えた 6.6 11.0 9.1 その他 0.0

14.6

0.5 0.0

0.0

わからない

圖 古川町(N = 463: n = 219)

図 宮川町(N = 11: n = 5)

図 1-2-4 【居住地別】暮らしが苦しくなったと感じる理由

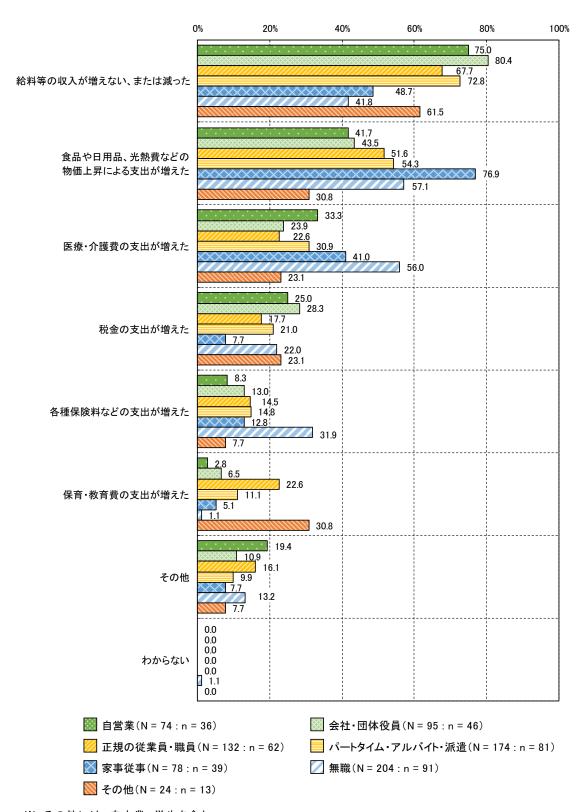
※ N=総回答数 n=回答者数

河合町(N = 19: n = 11)

神岡町(N = 301:n = 137)

職業別(図 1-2-5)でみると、家事従事と無職を除くいずれの職業においても「給料等の収入が増えない、または減った」が最も高く、そのうち会社・団体役員が80.4%と最も高くなっている。家事従事と無職では「食品や日用品、光熱費などの物価上昇による支出が増えた」が最も高くなっている。

図 1-2-5 【職業別】 暮らしが苦しくなったと感じる理由



- ※ その他には、自由業、学生を含む。
- ※ N=総回答数 n=回答者数

問2 暮らしの満足度

問2 あなたは、現在の暮らし全般(生活環境など)についてどう思いますか。(1つだけ)

全体(図 2-1)でみると、「おおむね満足している」が 60.0% と最も高く、次いで「まだまだ不満だ」(24.7%)、「十分満足している」(5.1%)の順となっている。

前回比較(図 2-1)でみると、前回と同様に「おおむね満足している」が最も高くなっている。

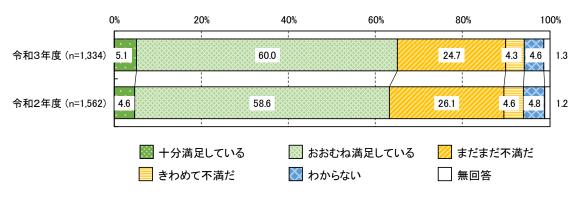


図 2-1 【全体・前回比較】 暮らしの満足度

性別(図 2-2)でみると、男女ともに「おおむね満足している」が最も高く、男性が 59.5%、 女性が 60.7%となっている。

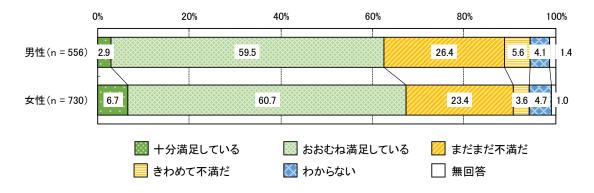


図 2-2 【性別】暮らしの満足度

年代別(図 2-3)でみると、いずれの年代においても「おおむね満足している」が最も高く、そのうち70歳以上が64.2%と最も高くなっている。「まだまだ不満だ」では50歳代が36.3%と最も高くなっている。

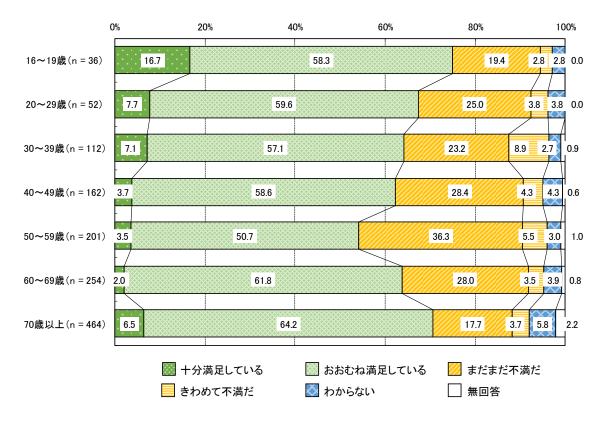


図 2-3 【年代別】暮らしの満足度

居住地別(図 2-4)でみると、いずれの居住地においても「おおむね満足している」が最も高く、そのうち宮川町が 65.8%と最も高くなっている。「まだまだ不満だ」では神岡町が 28.3%と最も高くなっている。

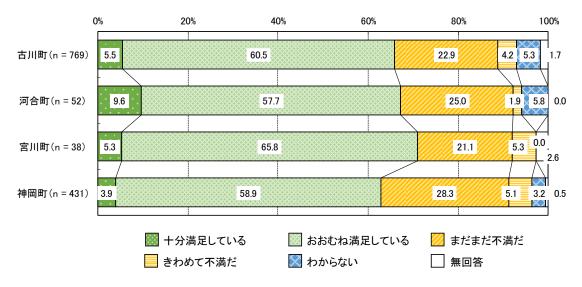


図 2-4 【居住地別】 暮らしの満足度

職業別(図 2-5)でみると、いずれの職業においても「おおむね満足している」が最も高く、そのうち家事従事が 67.5%と最も高くなっている。「まだまだ不満だ」ではパートタイム・アルバイト・派遣が 29.9%と最も高くなっている。

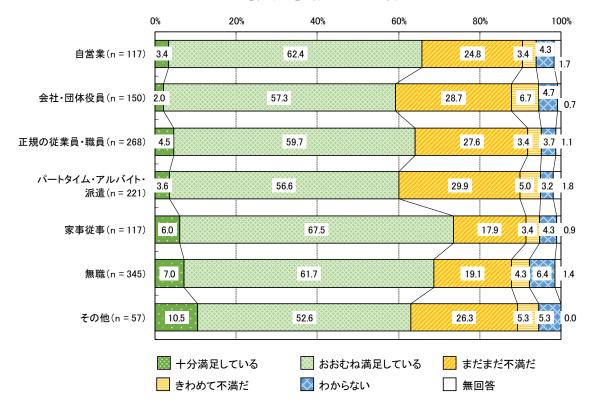


図 2-5 【職業別】暮らしの満足度

※ その他には、自由業、学生を含む。

問3 生活面での不安

問3 あなたは、日頃の暮らしの中で、どのようなことに悩みや不安を感じていますか。 (3つまで)

全体(図 3-1)でみると、「健康・体力」が 68.4%と最も高く、次いで「収入・貯蓄」 (46.1%)、「介護」 (27.4%) の順となっている。

前回比較(図 3-1)でみると、前回と同様に「健康・体力」、「収入・貯蓄」、「介護」の順となっている。「収入・貯蓄」は前回と比べて 5.2 ポイント低くなっている。

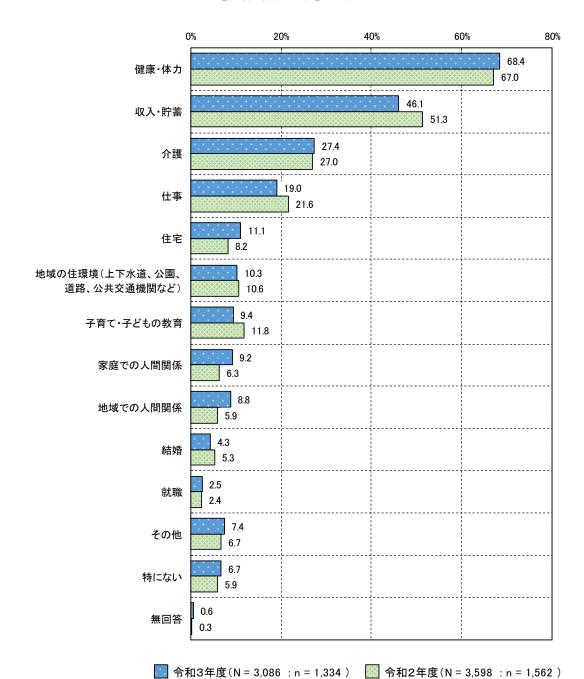


図 3-1 【全体・前回比較】 生活面での不安

性別(図3-2)でみると、男女ともに「健康・体力」が最も高く、男性が67.8%、女性が69.7%となっている。「仕事」では男性が女性より4.8ポイント高く、「子育て・子どもの教育」では女性が男性より5.2ポイント高くなっている。

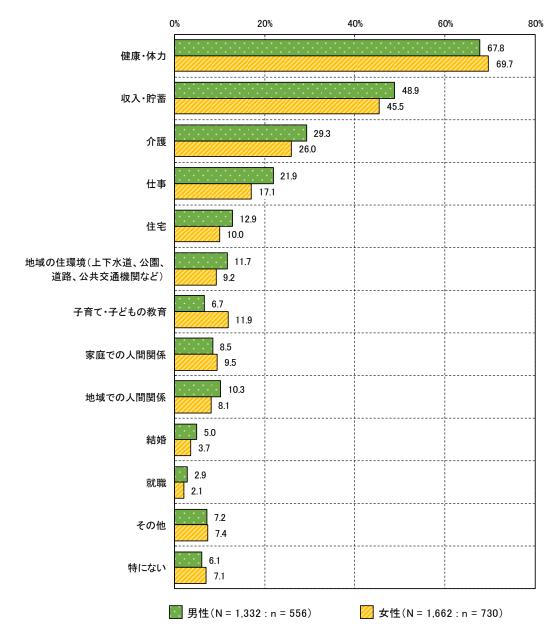


図 3-2 【性別】 生活面での不安

年代別(図3-3)でみると、20歳代、30歳代、40歳代は「収入・貯蓄」が最も高く、そのうち30歳代が62.5%と最も高くなっている。16~19歳、50歳代、60歳代、70歳以上では「健康・体力」が最も高く、そのうち70歳以上が85.6%と最も高くなっている。「健康・体力」は年代が高くなる程、割合が高くなっている。「就職」では16~19歳が、「地域の住環境(上下水道、公園、道路、公共交通機関など)」「結婚」では20歳代が、「子育て・子どもの教育」では30歳代、40歳代が他の年代に比べて高くなっている。

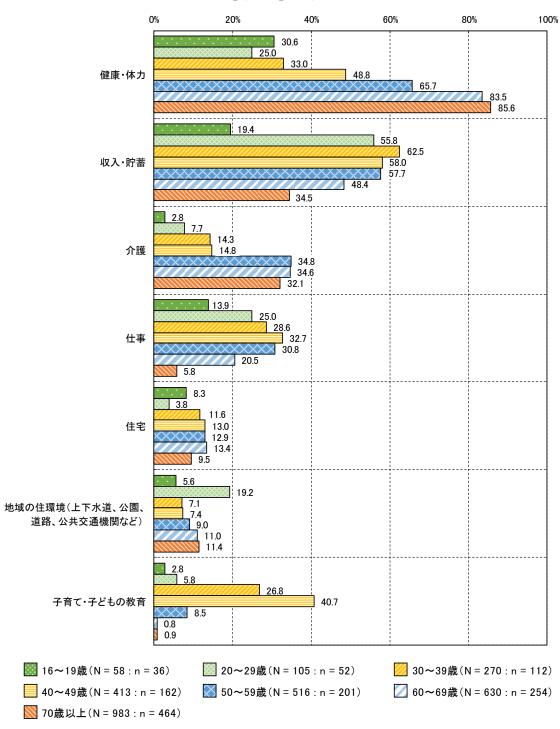
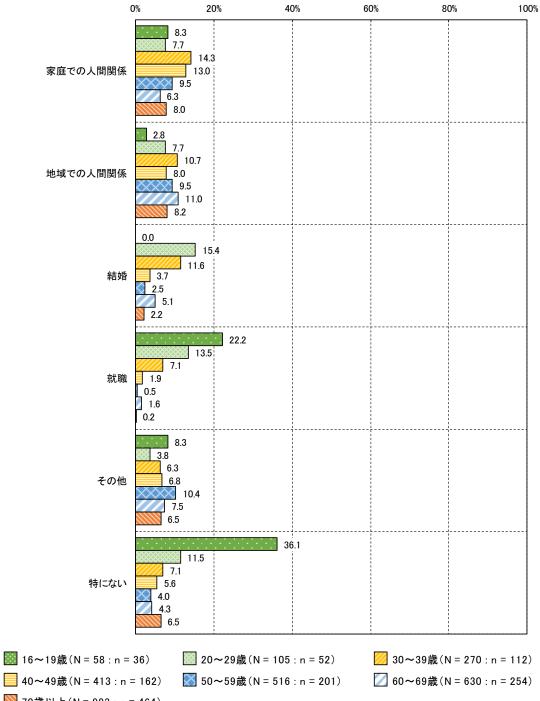


図 3-3 【年代別】 生活面での不安

図 3-3 【年代別】生活面での不安 (続き) 20% 40% 8.3 7.7



№ 70歳以上(N = 983 : n = 464)

※ N=総回答数 n=回答者数

居住地別(図3-4)でみると、いずれの居住地においても「健康・体力」が最も高く、そのうち神岡町が72.2%と最も高くなっている。「収入・貯蓄」では河合町が、「地域の住環境(上下水道、公園、道路、公共交通機関など)」では宮川町が他の居住地に比べて高くなっている。

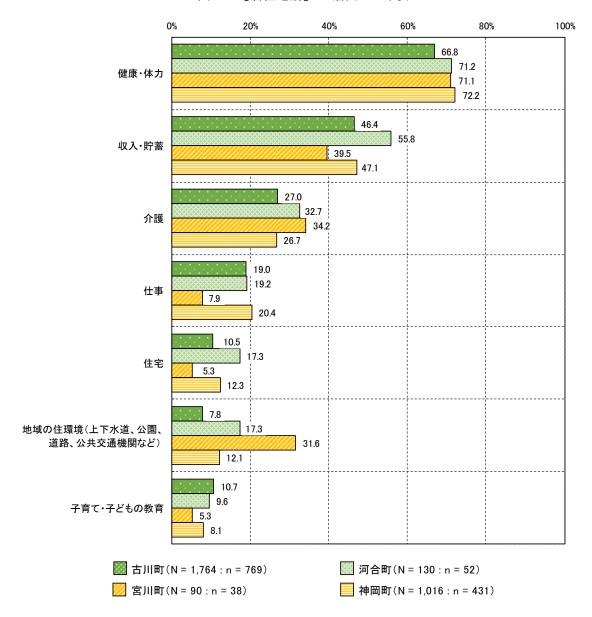
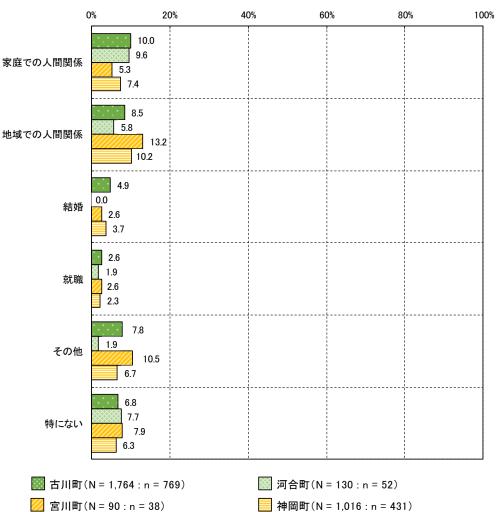


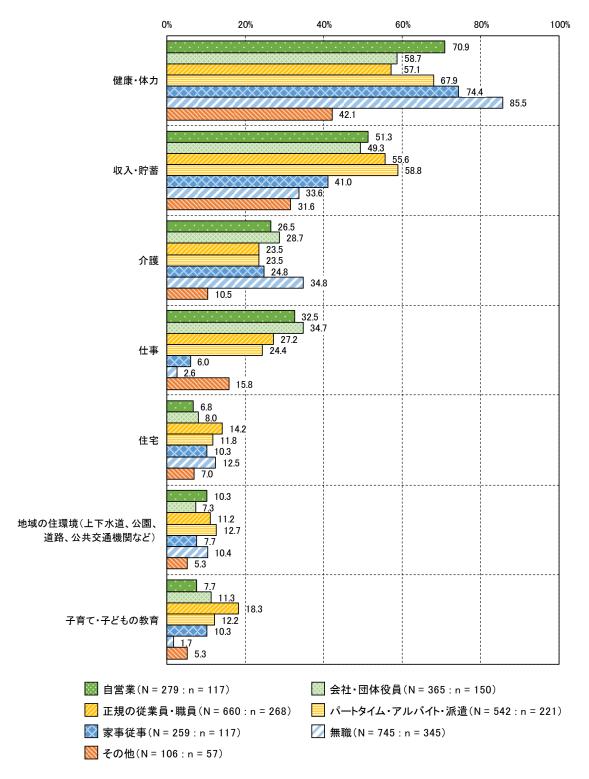
図 3-4 【居住地別】 生活面での不安

図 3-4 【居住地別】 生活面での不安 (続き)



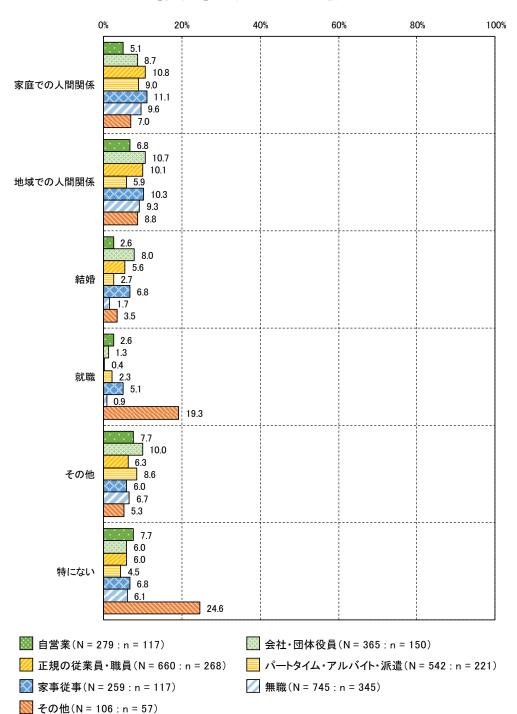
職業別(図3-5)でみると、いずれの職業においても「健康・体力」が最も高く、そのうち無職が85.5%と最も高くなっている。「収入・貯蓄」ではパートタイム・アルバイト・派遣が58.8%と他の職業に比べて高くなっている。





- ※ その他には、自由業、学生を含む。
- ※ N=総回答数 n=回答者数

図 3-5 【職業別】生活面での不安 (続き)



- ※ その他には、自由業、学生を含む。
- ※ N=総回答数 n=回答者数

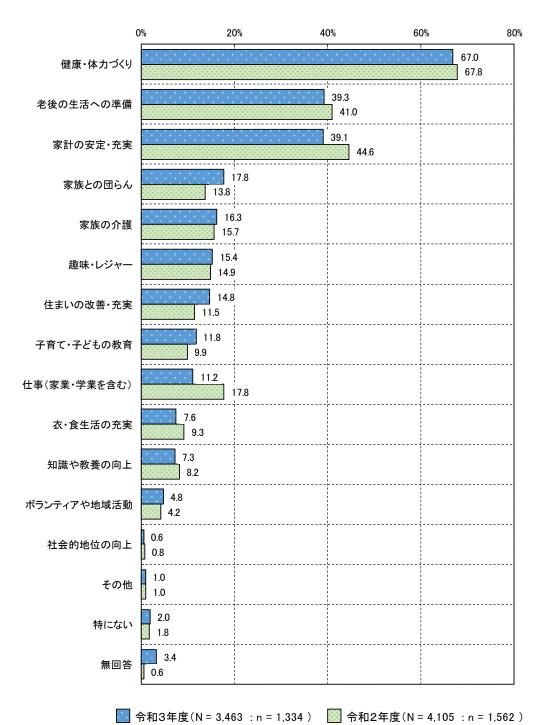
問4 今後の暮らしの中で重視していきたいこと

問4 あなたが、今後の暮らしの中で重視していきたいと思うことは何ですか。(3つまで)

全体(図 4-1)でみると、「健康・体力づくり」が 67.0%と最も高く、次いで「老後の生活への準備」(39.3%)、「家計の安定・充実」(39.1%)の順となっている。

前回比較(図4-1)でみると、前回と同様に「健康・体力づくり」が最も高くなっている。

図 4-1 【全体・前回比較】 今後の暮らしの中で重視していきたいこと



※ N=総回答数 n=回答者数

性別(図 4-2)でみると、男女ともに「健康・体力づくり」が最も高く、男性が 65.8%、女性が 69.2%となっており、女性が男性より 3.4 ポイント高くなっている。「趣味・レジャー」では男性が女性より 4.1 ポイント高く、「子育て・子どもの教育」では女性が男性より 6.5 ポイント高くなっている。

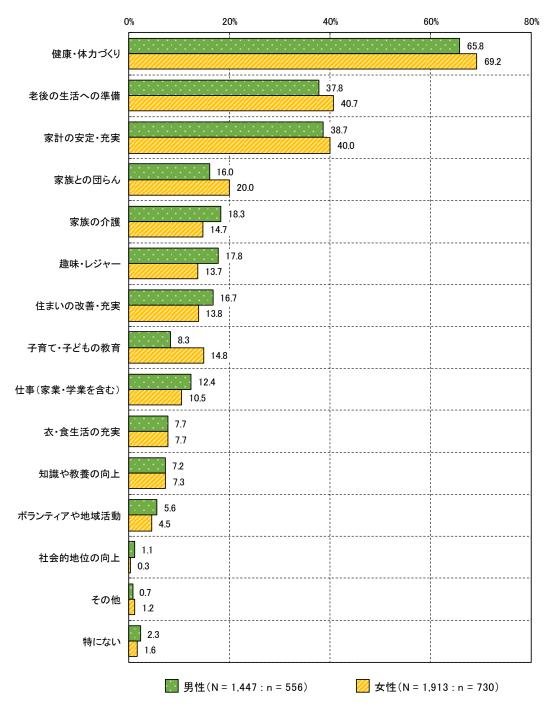


図 4-2 【性別】 今後の暮らしの中で重視していきたいこと

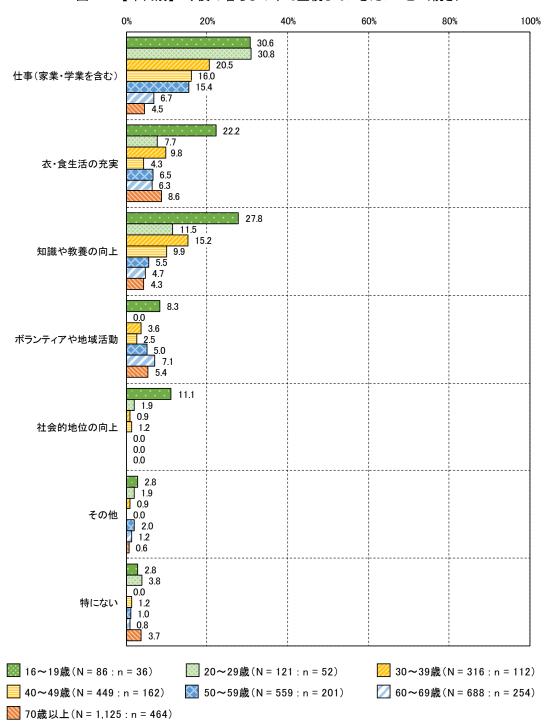
年代別(図 4-3)でみると、16~19歳では「趣味・レジャー」が41.7%、20歳代では「健康・体力づくり」、「家計の安定・充実」が40.4%、30歳代、40歳代では「家計の安定・充実」が、50歳代、60歳代、70歳以上では「健康・体力づくり」が最も高くなっている。30歳代、40歳代では「子育て・子どもの教育」が他の年代に比べて高くなっている。

図 4-3 【年代別】 今後の暮らしの中で重視していきたいこと 80% 100% 20% 40.4 健康・体力づくり 79.7 5.8 老後の生活への準備 53.6 52.5 家計の安定・充実 13.9 26.8 家族との団らん 22.2 16.9 家族の介護 25.9 16.4 30.8 25.0 19.1 趣味・レジャー 14.9 12.6 9.9 23.2 住まいの改善・充実 13.0 子育て・子どもの教育 46.3 1.2 16~19歳(N = 86 : n = 36) 20~29歳(N = 121 : n = 52) 30~39歳(N = 316 : n = 112) ■ 40~49歳(N = 449 : n = 162) 60~69歳(N = 688 : n = 254)

※ N=総回答数 n=回答者数

№ 70歳以上(N = 1,125:n = 464)

図 4-3 【年代別】 今後の暮らしの中で重視していきたいこと (続き)



居住地別(図4-4)でみると、いずれの居住地においても「健康・体力づくり」が最も高く、そのうち河合町が76.9%と最も高くなっている。

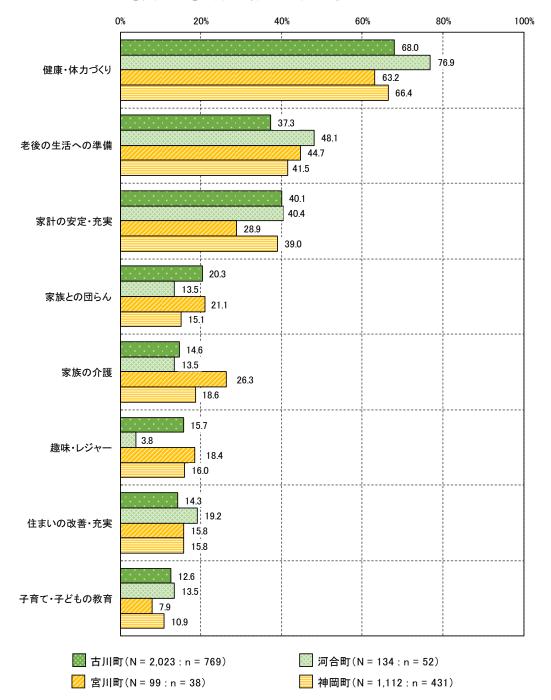


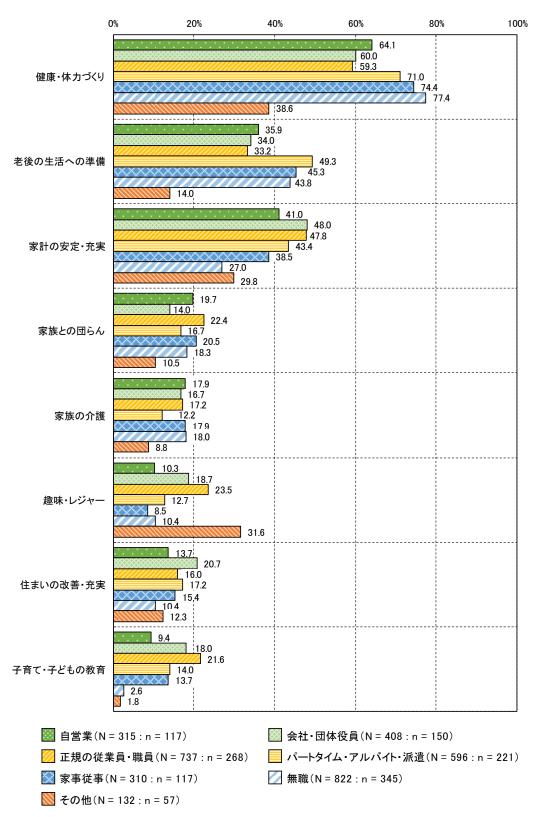
図 4-4 【居住地別】 今後の暮らしの中で重視していきたいこと

図 4-4 【居住地別】 今後の暮らしの中で重視していきたいこと (続き)

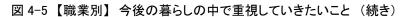


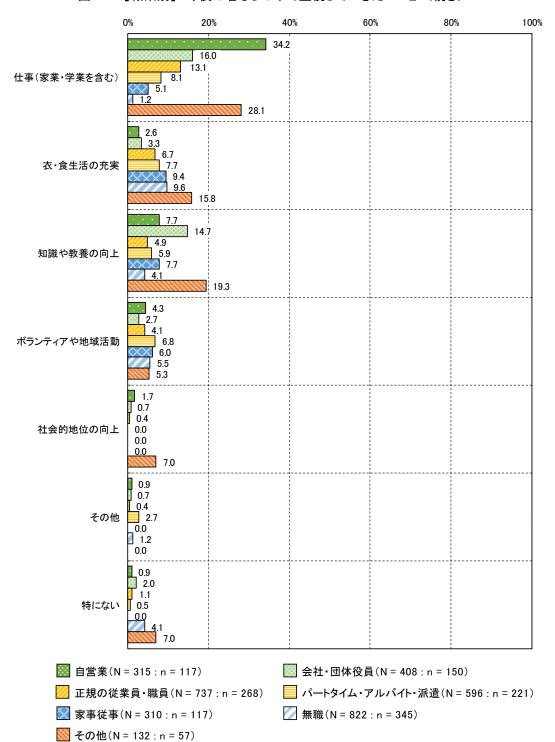
職業別(図 4-5)でみると、いずれの職業においても「健康・体力づくり」が最も高く、 そのうち無職が 77.4%と最も高くなっている。

図 4-5 【職業別】 今後の暮らしの中で重視していきたいこと



- ※ その他には、自由業、学生を含む。
- ※ N=総回答数 n=回答者数





- ※ その他には、自由業、学生を含む。
- ※ N=総回答数 n=回答者数

問5 あなたは、生活に必要な情報を何から得ていますか。(いくつでも)

全体(図 5-1)でみると、「テレビ(データ放送を除く)」が 75.8%と最も高く、次いで「新聞」(62.3%)、「インターネット(ホームページなど)」(51.2%)の順となっている。

前回比較(図 5-1)でみると、前回と同様に「テレビ(データ放送を除く)」が最も高くなっているが、前回と比べて 4.5 ポイント低くなっている。「同報無線放送」では 5.3 ポイント高くなっている。

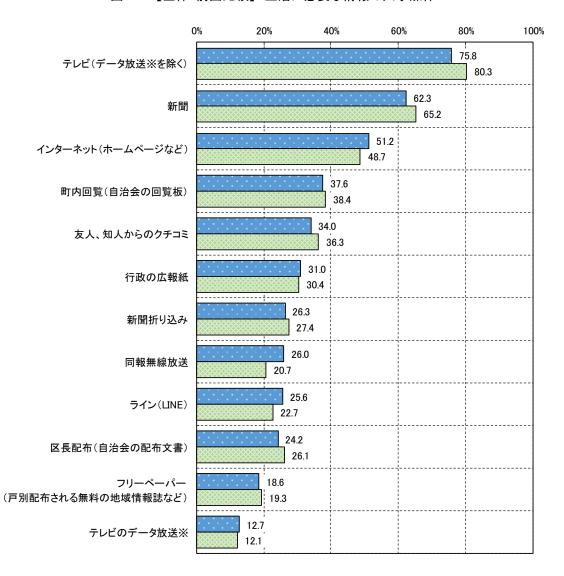
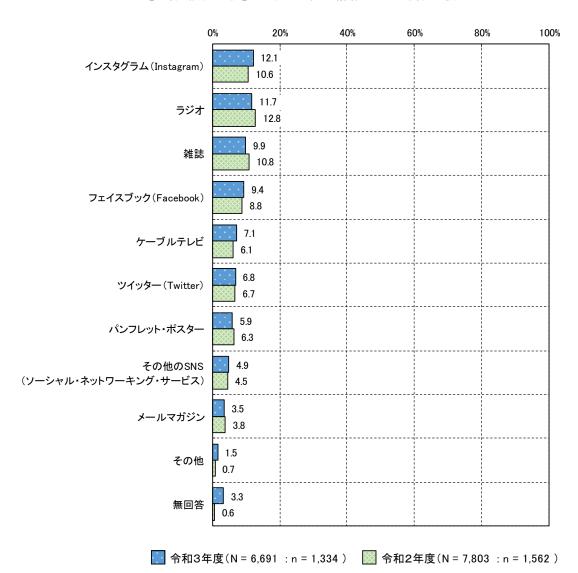


図 5-1 【全体・前回比較】 生活に必要な情報の入手媒体

※ データ放送:リモコンの「dボタン」を押すと天気やニュースなどの情報を入手できるサービス

※ N=総回答数 n=回答者数

図 5-1 【全体・前回比較】 生活に必要な情報の入手媒体 (続き)



[※] データ放送:リモコンの「dボタン」を押すと天気やニュースなどの情報を入手できるサービス

[※] N=総回答数 n=回答者数

性別 (図 5-2) でみると、男女ともに「テレビ (データ放送を除く)」が最も高く、男性が 74.8%、女性が 78.1%となっている。「インターネット (ホームページなど)」では男性が 女性より 10.9 ポイント高く、「友人、知人からのクチコミ」では女性が男性より 15.4 ポイント高くなっている。

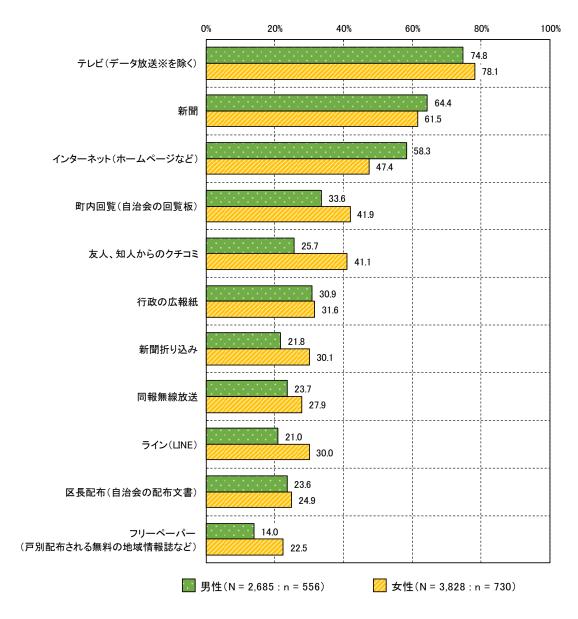
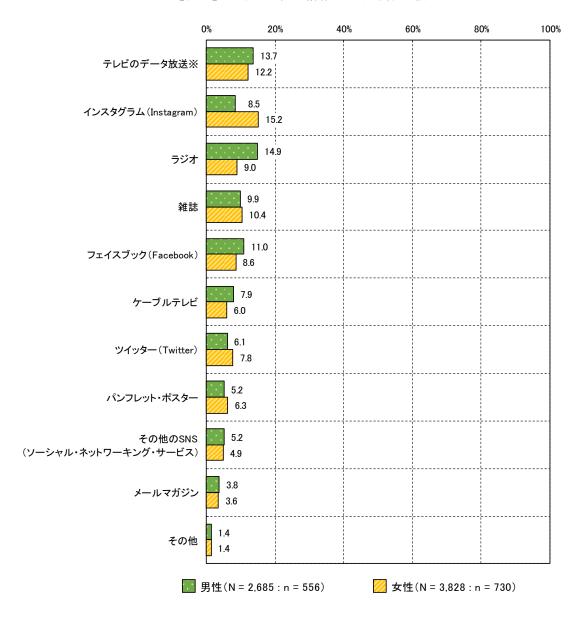
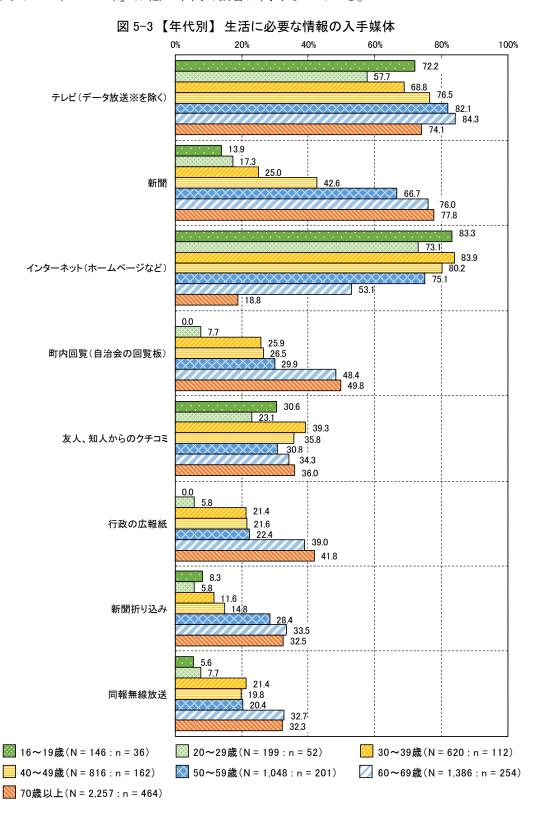


図 5-2 【性別】 生活に必要な情報の入手媒体

図 5-2 【性別】 生活に必要な情報の入手媒体 (続き)



年代別(図 5-3)でみると、16~19歳、20歳代、30歳代、40歳代では「インターネット(ホームページなど)」が、50歳代、60歳代では「テレビ(データ放送を除く)」が、70歳以上では「新聞」が最も高くなっている。「新聞」、「町内回覧(自治会の回覧板)」、「行政の広報紙」では年代が高くなる程割合が高く、「ライン(LINE)」、「インスタグラム(Instagram)」、「ツイッター(Twitter)」は低い年代で割合が高くなっている。



※ N=総回答数 n=回答者数

図 5-3 【年代別】 生活に必要な情報の入手媒体 (続き)

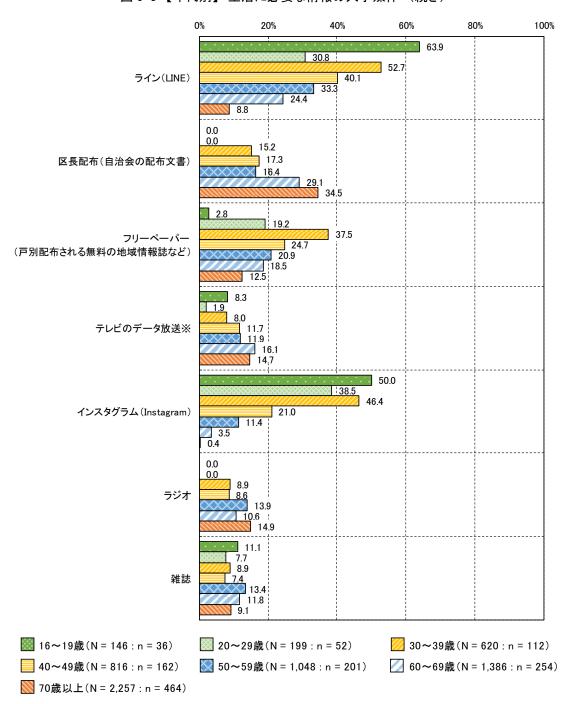
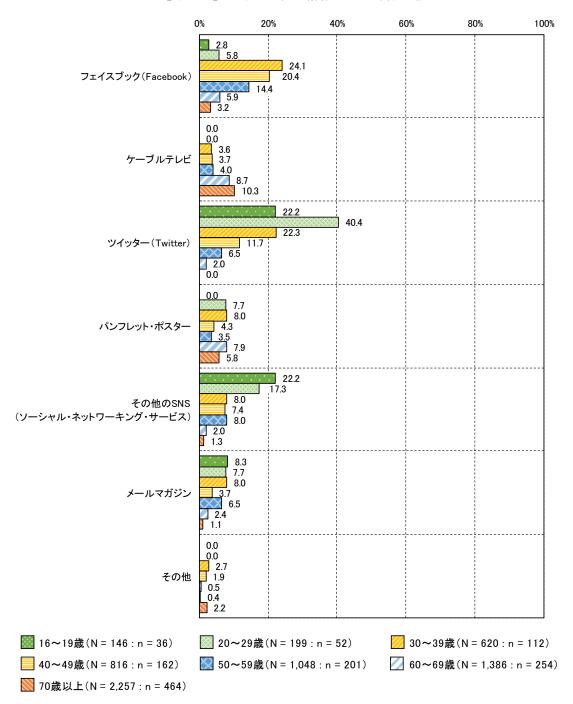


図 5-3 【年代別】 生活に必要な情報の入手媒体 (続き)



居住地別(図 5-4)でみると、いずれの居住地においても「テレビ(データ放送を除く)」が最も高く、そのうち河合町が 80.8%と最も高くなっている。「新聞」、「行政の広報紙」、「区長配布(自治会の配布文書)」では、宮川町が他の居住地に比べて高くなっている。

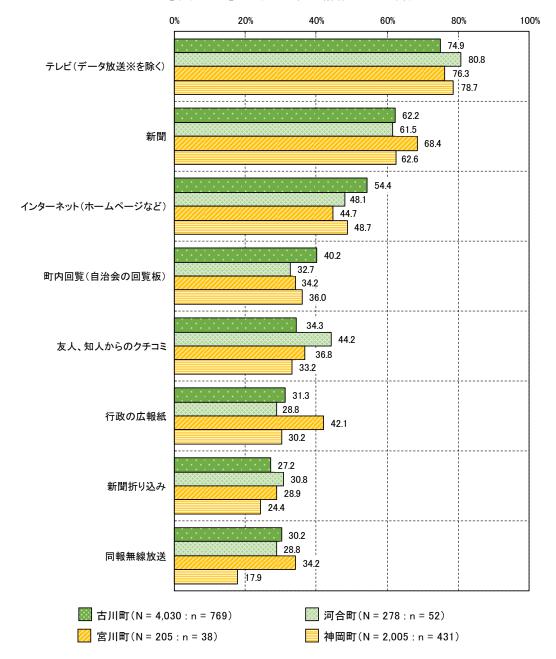


図 5-4 【居住地別】 生活に必要な情報の入手媒体

図 5-4 【居住地別】 生活に必要な情報の入手媒体 (続き)

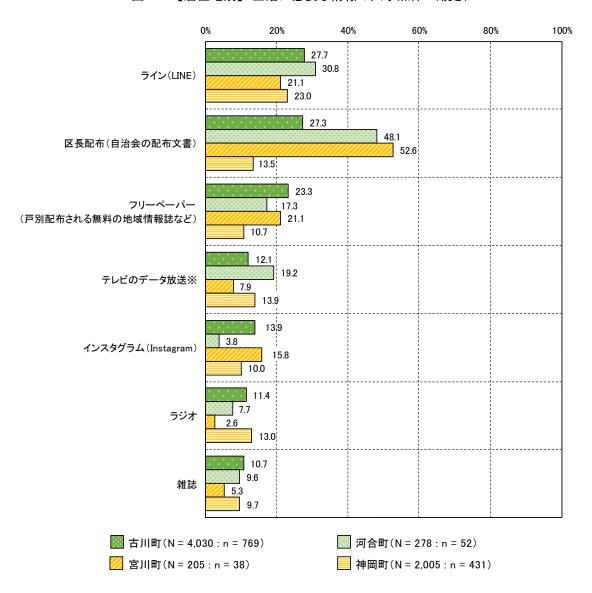
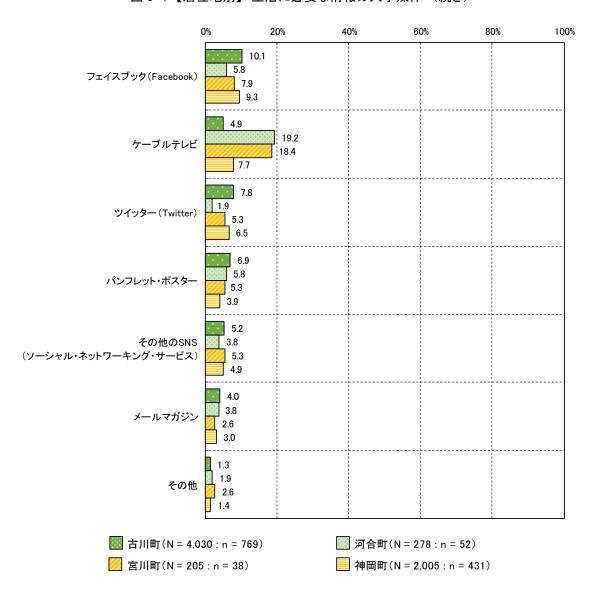


図 5-4 【居住地別】 生活に必要な情報の入手媒体 (続き)



問6 現在住んでいる地域は住みやすいか

問6 あなたにとって、現在お住まいの地域は住みやすいですか。(1つだけ)

全体(図 6-1)でみると、「どちらかといえば住みやすい」が 41.0%と最も高くなっている。次いで「住みやすい」(28.2%)、「どちらともいえない」(16.9%)の順となっている。 前回比較(図 6-1)でみると、前回と比べて「満足層」(「住みやすい」+「どちらかといえば住みやすい」) は 2.9 ポイント減少している。

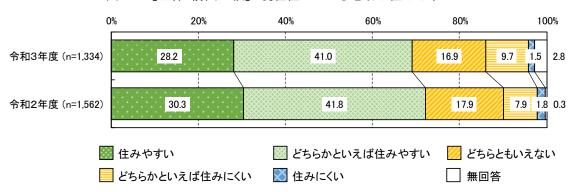


図 6-1 【全体・前回比較】 現在住んでいる地域は住みやすいか

性別(図 6-2)でみると、男女ともに「どちらかといえば住みやすい」が最も高く、男性が 41.4%、女性が 41.2%となっている。「住みやすい」では女性が男性より 6.8 ポイント高くなっている。

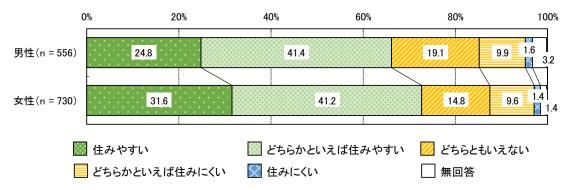


図 6-2 【性別】 現在住んでいる地域は住みやすいか

年代別(図 6-3)でみると、 $16\sim19$ 歳を除くいずれの年代においても「どちらかといえば住みやすい」が最も高く、 $16\sim19$ 歳では「住みやすい」が最も高くなっている。

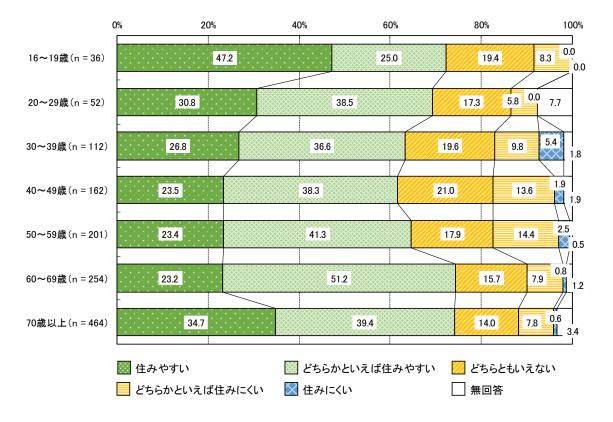


図 6-3 【年代別】 現在住んでいる地域は住みやすいか

居住地別(図 6-4)でみると、いずれの居住地においても「どちらかといえば住みやすい」が最も高く、古川町で 42.3%と最も高くなっている。「住みやすい」においても古川町が 32.1%と他の居住地に比べて高く、また「どちらかといえば住みにくい」では宮川町が 21.1%と他の居住地に比べて高くなっている。

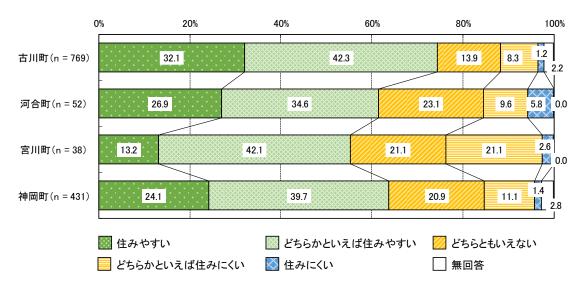


図 6-4 【居住地別】 現在住んでいる地域は住みやすいか

居住環境別(図 6-5)でみると、いずれの居住環境においても「どちらかといえば住みやすい」が最も高く、その他以外では商業地域が 47.8%と最も高くなっている。商業地域では「住みやすい」においても 30.4%と他の居住環境に比べて高くなっている

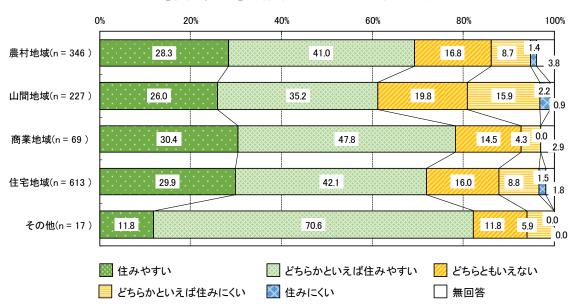


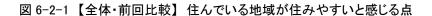
図 6-5 【居住環境別】 現在住んでいる地域は住みやすいか

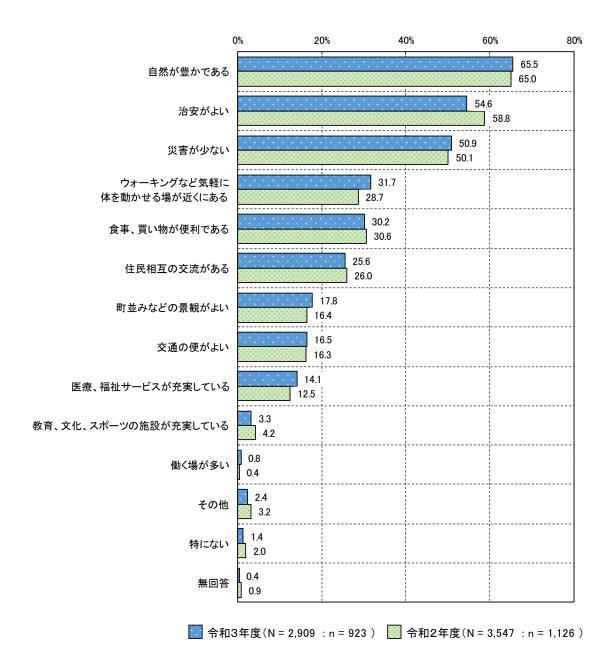
問6-2 住んでいる地域が住みやすいと感じる点

問6-2 「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と答えた方にお尋ねします。 あなたが、現在お住まいの地域が住みやすいと感じるのは、特にどのような点です か。(いくつでも)

全体(図 6-2-1)でみると、「自然が豊かである」が 65.5%と最も高く、次いで「治安がよい」(54.6%)、「災害が少ない」(50.9%)、「ウォーキングなど気軽に体を動かせる場が近くにある」(31.7%)、「食事、買い物が便利である」(30.2%)の順となっている。

前回比較(図 6-2-1)でみると、前回と同様に「自然が豊かである」が最も高く、次いで「治安がよい」、「災害が少ない」の順となっている。





- ※ 問6で「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と答えた方のみ
- ※ N=総回答数 n=回答者数

性別(図 6-2-2)でみると、男女ともに「自然が豊かである」が最も高く、男性が 60.6%、女性が 69.5%となっている。

100% 20% 40% 60% 80% 自然が豊かである 69.5 58.7 治安がよい 52.3 51.4 災害が少ない 50.8 ウォーキングなど気軽に 29.1 体を動かせる場が近くにある 33.6 277 食事、買い物が便利である 31.8 28.0 住民相互の交流がある 24.2 19.0 町並みなどの景観がよい 17.3 18.8 交通の便がよい 15.4 13.6 医療、福祉サービスが充実している 14.1 教育、文化、スポーツの施設が充実している 3.8 働く場が多い 0.6 その他 3.2 特にない

男性(N = 1,152 : n = 368)

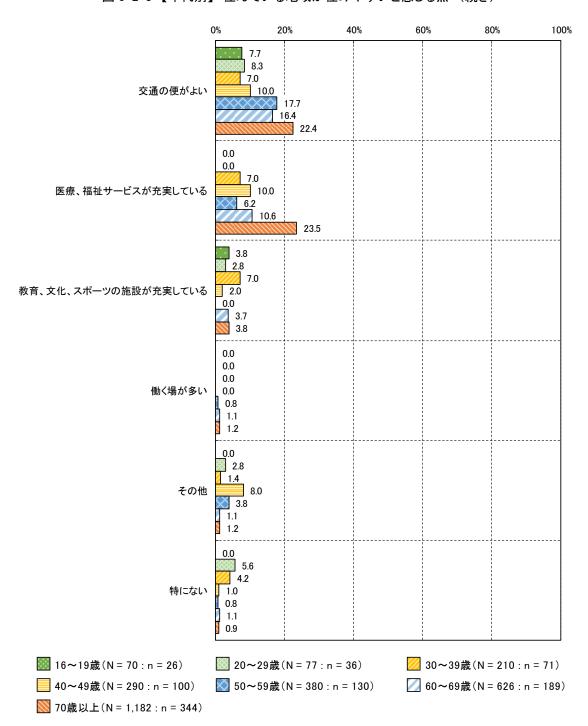
図 6-2-2 【性別】 住んでいる地域が住みやすいと感じる点

年代別(図 6-2-3)でみると、70歳以上を除くいずれの年代においても「自然が豊かである」が最も高く、そのうち $16\sim19$ 歳が 76.9%と最も高くなっている。70歳以上では「災害が少ない」が 62.2%と最も高くなっている。 $16\sim19$ 歳では「治安がよい」においても他の年代に比べて高くなっている。

0% 20% 40% 60% 80% 100% 76.9 74.6 自然が豊かである 71.0 63.1 67.2 61.3 65.4 50.0 62.0 治安がよい 57.0 57.7 **60.8** 49.1 38.5 8.3 42.0 災害が少ない 43.8 57.7 62.2 30.8 19.4 28.2 ウォーキングなど気軽に 30.0 体を動かせる場が近くにある 37.8 154 13.9 18.3 食事、買い物が便利である 19.0 33 1 36.3 7.7 8.3 26.8 住民相互の交流がある 22.0 28.6 29.7 23.1 27.8 25.4 118.0 町並みなどの景観がよい 22.3 18.0 13.7 16~19歳(N = 70:n = 26) 20~29歳(N = 77 : n = 36) 30~39歳(N = 210 : n = 71) ■ 40~49歳(N = 290:n = 100) **№** 50~59歳(N = 380 : n = 130) 60~69歳(N = 626 : n = 189) ■ 70歳以上(N = 1,182:n = 344)

図 6-2-3 【年代別】 住んでいる地域が住みやすいと感じる点

図 6-2-3 【年代別】 住んでいる地域が住みやすいと感じる点 (続き)



居住地別(図 6-2-4)でみると、いずれの居住地においても「自然が豊かである」が最も高く、そのうち河合町が96.9%と最も高くなっている。「治安がよい」、「住民相互の交流がある」では宮川町が、「災害が少ない」では神岡町が他の居住地に比べて高くなっている。

0% 20% 40% 60% 80% 100% 65.4 96.9 自然が豊かである 81.0 62.2 540 62.5 治安がよい 76.2 54.5 48.8 25.0 災害が少ない 23.8 60.4 34.1 ウォーキングなど気軽に 25.0 体を動かせる場が近くにある 14.3 29.1 35.7 6.3 食事、買い物が便利である 23.3 25.5 37.5 住民相互の交流がある 66.7

21.8

20.5

河合町(N = 90 : n = 32)

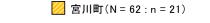
神岡町(N = 823:n = 275)

15.6

6.3

0.0

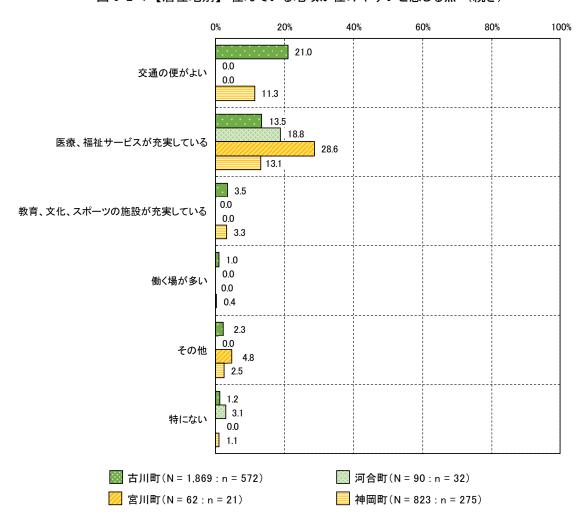
図 6-2-4 【居住地別】 住んでいる地域が住みやすいと感じる点



酬 古川町(N = 1,869: n = 572)

町並みなどの景観がよい

図 6-2-4 【居住地別】 住んでいる地域が住みやすいと感じる点 (続き)



問6-3 住んでいる地域が住みにくいと感じる点

問6-3 「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」と答えた方にお尋ねします。 あなたが、現在お住まいの地域が住みにくいと感じるのは、特にどのような点です か。(いくつでも)

全体(図 6-3-1)でみると、「食事、買い物が不便である」が 63.8%と最も高く、次いで「交通の便がよくない」(58.4%)、「働く場が少ない」(32.9%)の順となっている。

前回比較(図 6-3-1)でみると、前回と同様に「食事、買い物が不便である」、「交通の便がよくない」、「働く場が少ない」の順となっているが、前回に比べてそれぞれ 7.3 ポイント、6.7 ポイント、6.6 ポイント低くなっている。

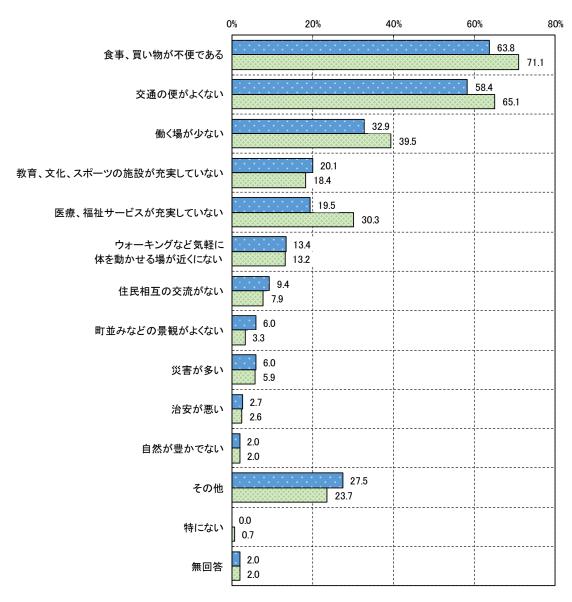


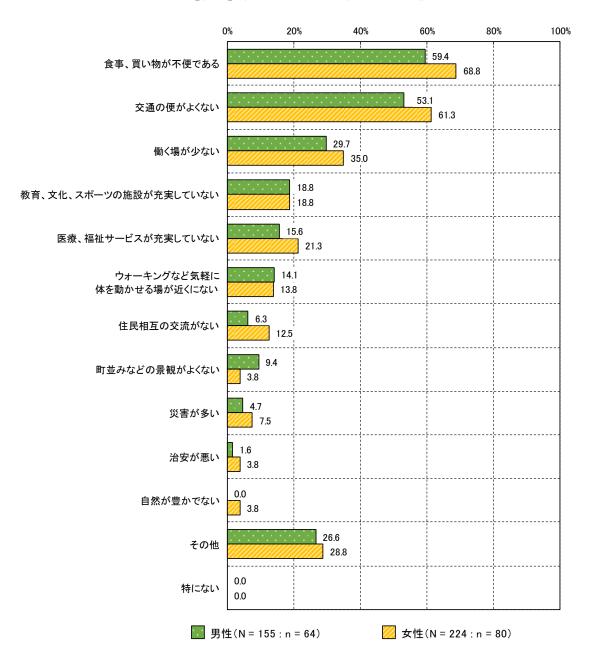
図 6-3-1 【全体・前回比較】 住んでいる地域が住みにくいと感じる点

- ※ 問 6 で「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」と答えた方のみ
- ※ N=総回答数 n=回答者数

□ 令和3年度(N = 393 : n = 149)
○ 令和2年度(N = 434 : n = 152)

性別(図 6-3-2)でみると、男女ともに「食事、買い物が不便である」が最も高く、男性が 59.4%、女性が 68.8%となっており、女性が男性より 9.4 ポイント高くなっている。

図 6-3-2 【性別】 住んでいる地域が住みにくいと感じる点



年代別(図 6-3-3)でみると、「食事、買い物が不便である」では 40 歳代が 72.0% と他の年代に比べて高くなっている。

図 6-3-3【年代別】 住んでいる地域が住みにくいと感じる点

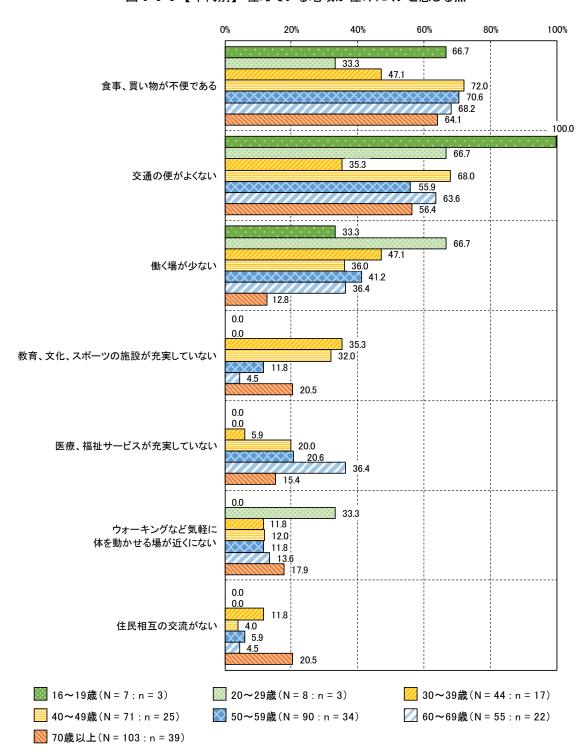
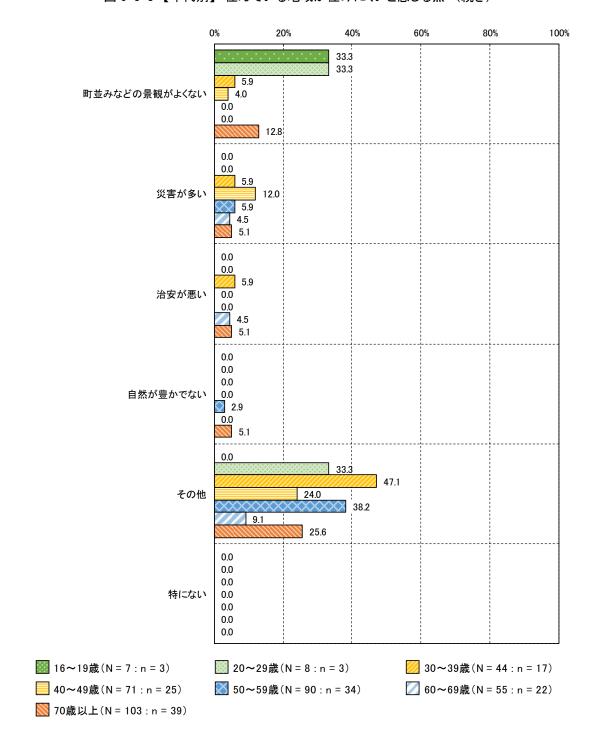


図 6-3-3【年代別】 住んでいる地域が住みにくいと感じる点 (続き)



居住地別(図 6-3-4)でみると、古川町では「食事、買い物が不便である」が 56.2%と最も高く、神岡町では「交通の便がよくない」が 70.4%と最も高くなっている。

図 6-3-4 【居住地別】 住んでいる地域が住みにくいと感じる点

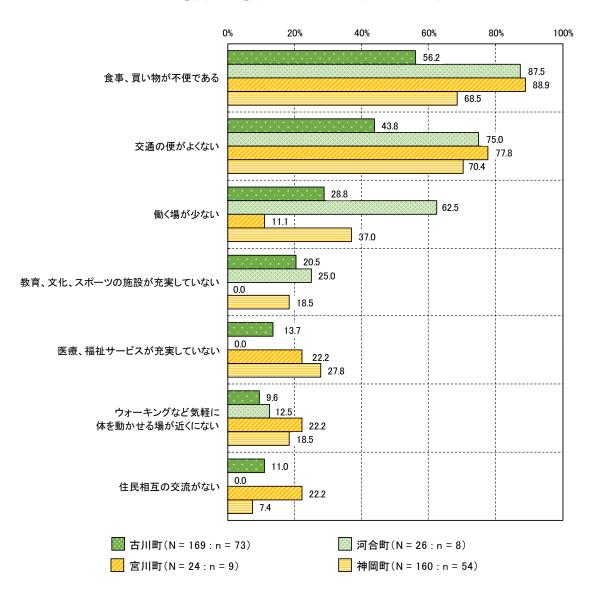
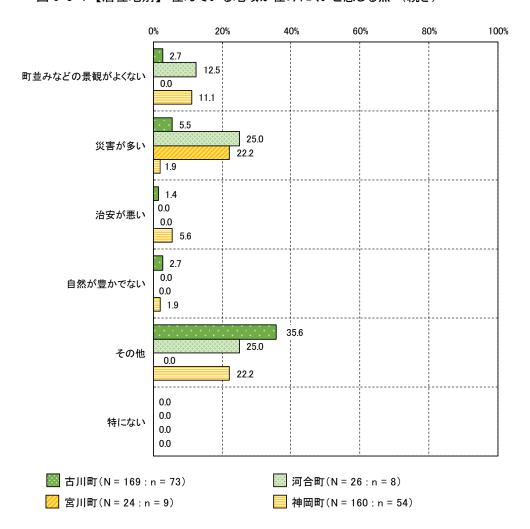


図 6-3-4 【居住地別】 住んでいる地域が住みにくいと感じる点 (続き)



問7 今後も飛騨市に住み続けたいか

問7 あなたは、今後も飛騨市に住み続けたいと思いますか。(1つだけ)

全体(図7-1)でみると、「はい」が68.2%と最も高くなっている。 前回比較(図7-1)でみると、前回と比べて「はい」が3.6ポイント低くなっている。

0% 40% 80% 100% 20% 60% 令和3年度 (n=1,334) 68.2 4.3 24.4 3.1 令和2年度 (n=1,562) 71.8 23.4 0.4 ■はい ◯ いいえ がらない

図 7-1 【全体・前回比較】 今後も飛騨市に住み続けたいか

性別(図 7-2)でみると、男女ともに「はい」が最も高く、それぞれ 68.5%、68.8%となっている。

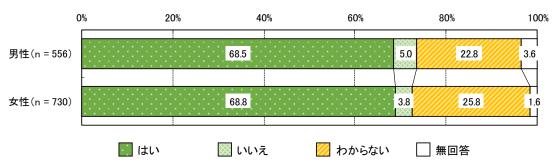


図 7-2 【性別】 今後も飛騨市に住み続けたいか

年代別 (図 7-3) でみると、 $16\sim19$ 歳を除くいずれの年代においても「はい」が最も高く、そのうち 70 歳以上が 80.0%と最も高くなっている。 $16\sim19$ 歳では「わからない」が 44.4% と最も高くなっている。

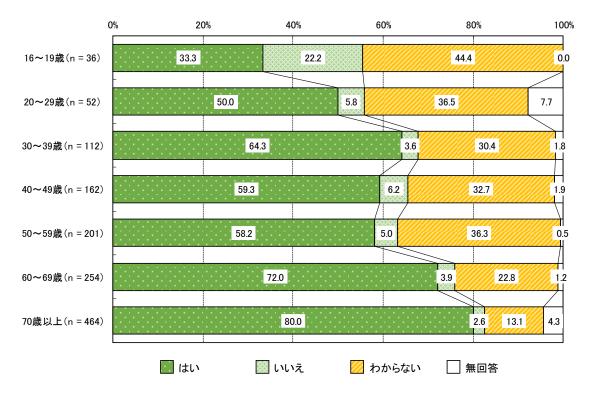


図 7-3 【年代別】 今後も飛騨市に住み続けたいか

居住地別(図 7-4)でみると、いずれの居住地においても「はい」が最も高く、そのうち 古川町が 72.3%と最も高くなっている。

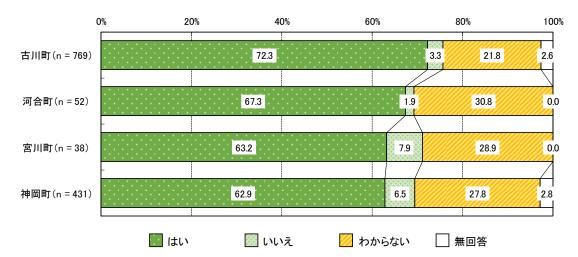


図 7-4 【居住地別】 今後も飛騨市に住み続けたいか

通勤、通学先別(図 7-5)でみると、市内、高山市では「はい」の割合が最も高く、それぞれ 65.0%、60.7%となっている。

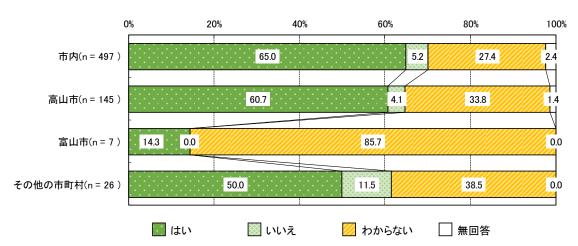


図 7-5 【通勤、通学先別】 今後も飛騨市に住み続けたいか

市外居住経験の有無別(図 7-6)でみると、市外居住経験がない人は「はい」が 75.7%と、 ある人より高くなっている。

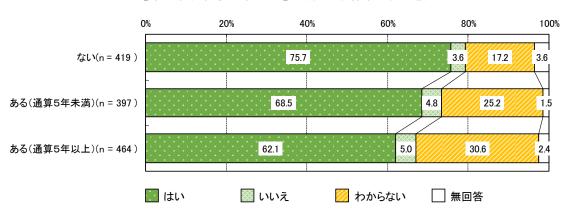


図 7-6 【市外居住経験の有無別】 今後も飛騨市に住み続けたいか

居住環境別(図 7-7)でみると、いずれの居住環境においても「はい」が最も高く、その うち農村地域が 74.0%と最も高くなっている。

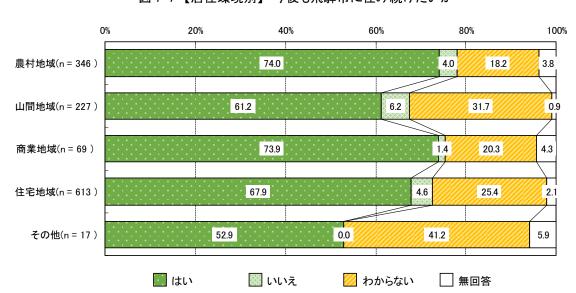


図 7-7 【居住環境別】 今後も飛騨市に住み続けたいか

2. 2 市の取り組み全般について

問8 施策や事業についての情報の入手方法

問8 あなたは、飛騨市(行政)の施策や事業を、何によって知ることが多いですか。 (いくつでも)

全体(図8-1)でみると、「市の広報紙「広報ひだ」」が60.6%と最も高く、次いで「町内回覧(自治会の回覧板)」(52.5%)、「同報無線放送」(37.6%)の順となっている。

前回比較(図 8-1)でみると、前回と同様に「市の広報紙「広報ひだ」」が最も高くなっている。「飛騨市公式ホームページ」では前回に比べて7.1ポイント、「飛騨市公式ライン(LINE)」は7.6ポイント高くなっている。

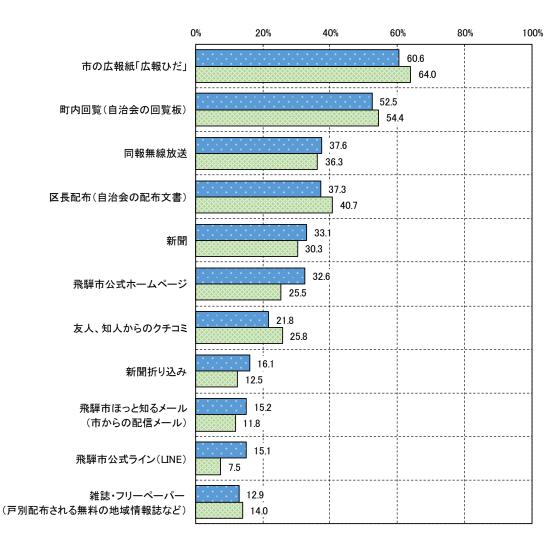
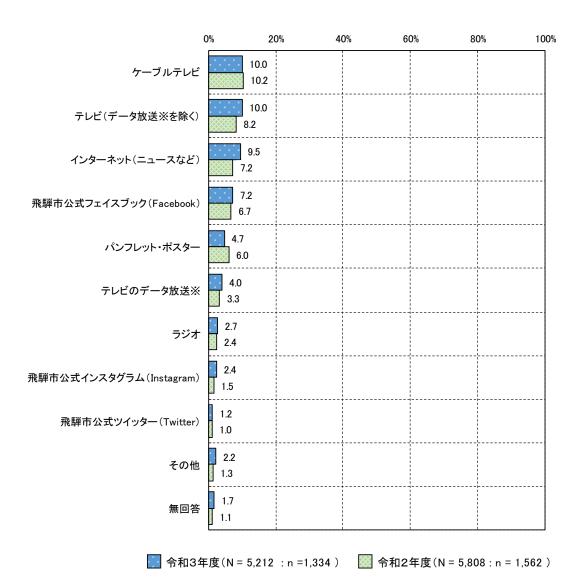


図 8-1 【全体・前回比較】 施策や事業についての情報の入手方法

● 令和3年度(N = 5,212 : n = 1,334) ● 令和2年度(N = 5,808 : n = 1,562)

※ N=総回答数 n=回答者数

図 8-1 【全体・前回比較】 施策や事業についての情報の入手方法 (続き)



[※] データ放送:リモコンの「dボタン」を押すと天気やニュースなどの情報を入手できるサービス

[※] N=総回答数 n=回答者数

性別(図 8-2)でみると、男女ともに「市の広報紙「広報ひだ」」が最も高く、男性が 57.2%、 女性が 64.7%となっており、女性が男性より 7.5 ポイント高くなっている。

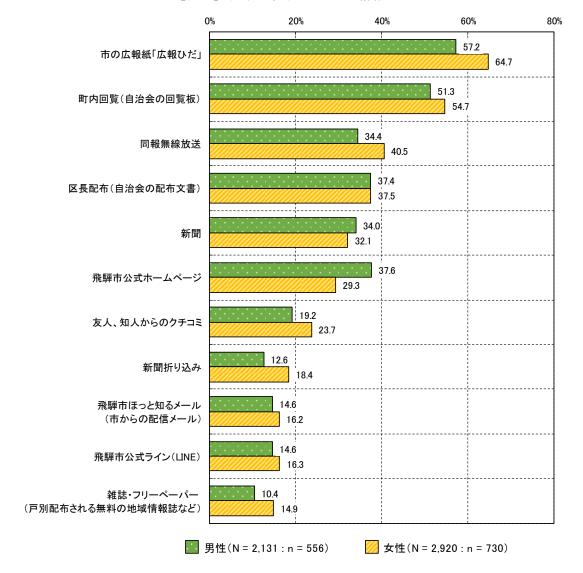
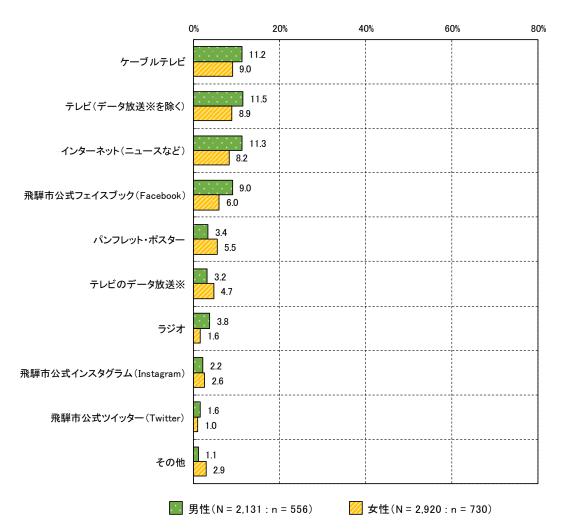


図 8-2 【性別】 施策や事業についての情報の入手方法

図 8-2 【性別】 施策や事業についての情報の入手方法 (続き)



年代別(図8-3)でみると、16~19歳を除くいずれの年代においても「市の広報紙「広報ひだ」」が最も高く、そのうち60歳代が72.0%と最も高くなっている。16~19歳では「友人、知人からのクチコミ」が30.6%と最も高くなっている。「市の広報紙「広報ひだ」」、「町内回覧(自治会の回覧板)」、「区長配布(自治会の配布文書)」では年代が高くなるほど割合が高くなる傾向がみられる。

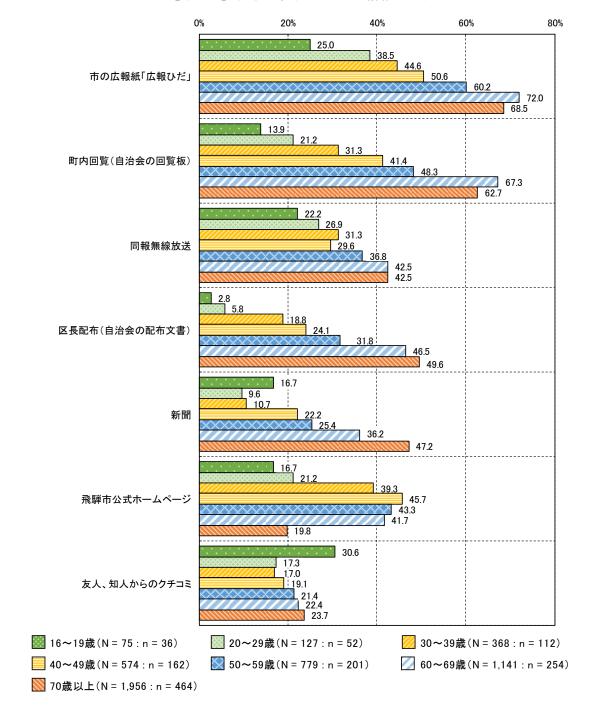


図 8-3 【年代別】 施策や事業についての情報の入手方法

図 8-3 【年代別】 施策や事業についての情報の入手方法 (続き)

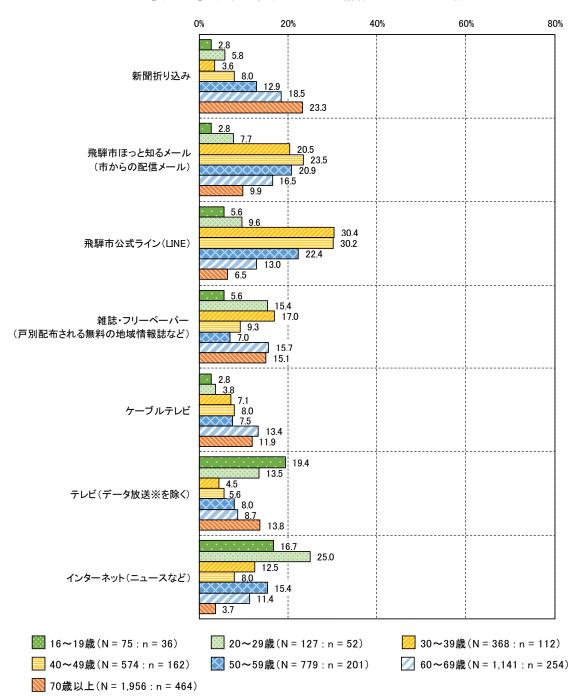
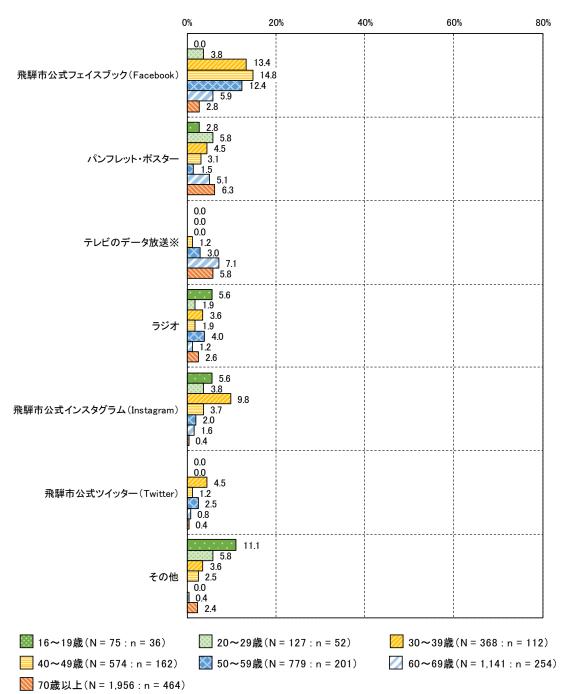


図 8-3 【年代別】 施策や事業についての情報の入手方法 (続き)



居住地別(図8-4)でみると、河合町を除くいずれの居住地においても「市の広報紙「広報ひだ」」が最も高く、そのうち宮川町が68.4%と最も高くなっている。河合町では「区長配布(自治会の配布文書)」が63.5%と最も高くなっている。

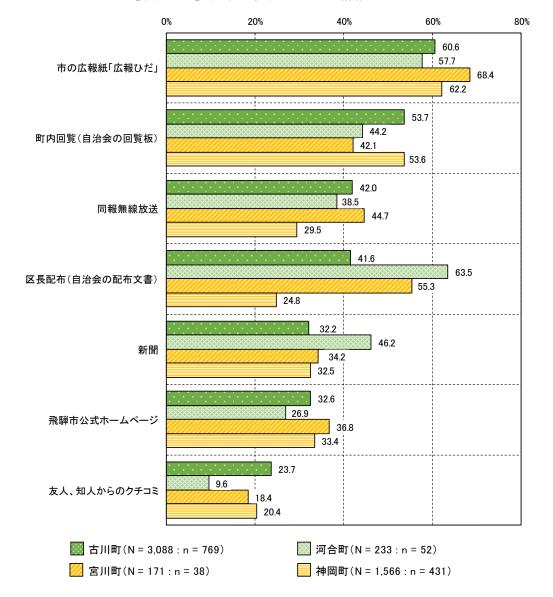


図 8-4 【居住地別】 施策や事業についての情報の入手方法

図 8-4 【居住地別】 施策や事業についての情報の入手方法 (続き)

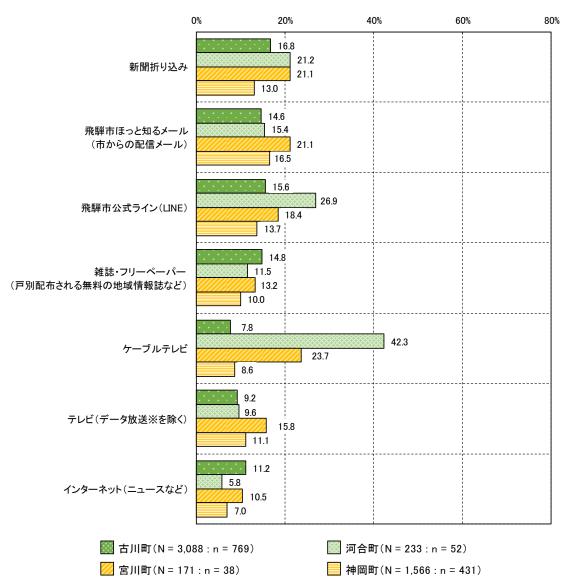
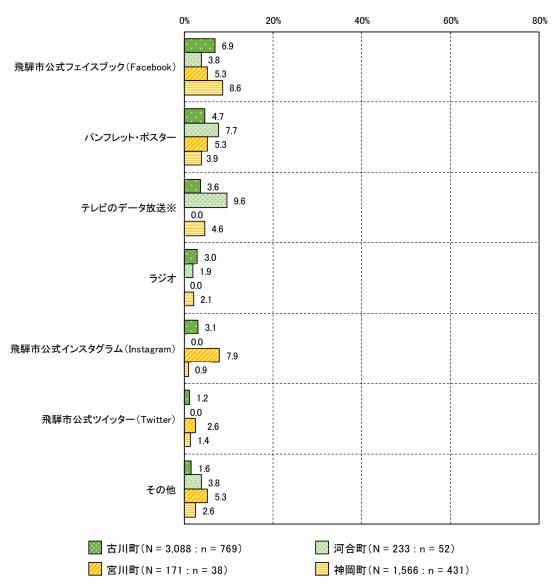


図 8-4 【居住地別】 施策や事業についての情報の入手方法 (続き)



問9 市事業への関心の有無

問9 あなたは、飛騨市(行政)の事業やその進め方について、関心をお持ちですか。 (1つだけ)

全体(図9-1)でみると、「どちらかといえば関心がある」が45.1%と最も高く、次いで「関心がある」(20.2%)、「どちらかといえば関心がない」(18.0%)の順となっている。 前回比較(図9-1)でみると、前回と同様に「どちらかといえば関心がある」が最も高くなっている。

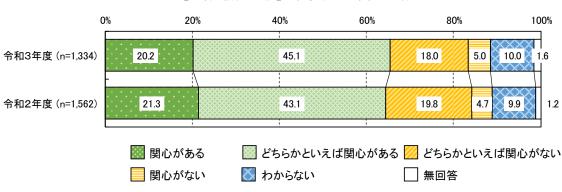


図 9-1 【全体・前回比較】 市事業への関心の有無

性別(図 9-2)でみると、男女ともに「どちらかといえば関心がある」が最も高く、男性が 44.6%、女性が 46.3%となっている。「関心がある」では、男性が女性より 6.6 ポイント高くなっている。

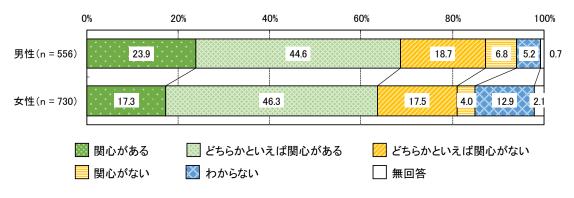


図 9-2 【性別】 市事業への関心の有無

年代別(図9-3)でみると、16~19歳を除くいずれの年代においても「どちらかといえば関心がある」が最も高く、16~19歳では「どちらかといえば関心がない」が最も高くなっている。70歳以上では「関心がある」が他の年代に比べて高くなっている。

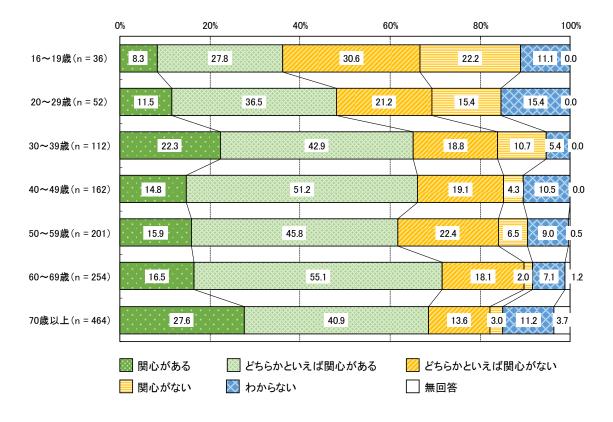


図 9-3 【年代別】 市事業への関心の有無

居住地別(図 9-4)でみると、いずれの居住地においても「どちらかといえば関心がある」が最も高く、そのうち宮川町が 47.4%と最も高くなっている。

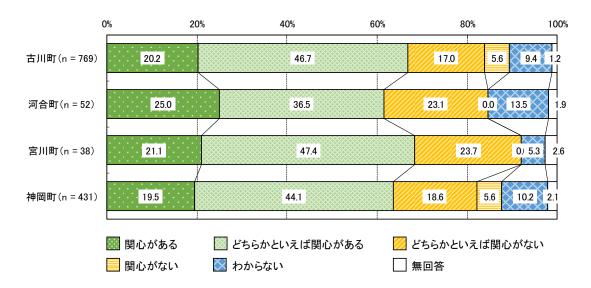


図 9-4 【居住地別】 市事業への関心の有無

職業別(図 9-5)でみると、いずれの職業においても「どちらかといえば関心がある」が最も高く、そのうち自営業が53.8%と最も高くなっている。「関心がある」においても自営業が29.1%と他の職業に比べて高くなっている。

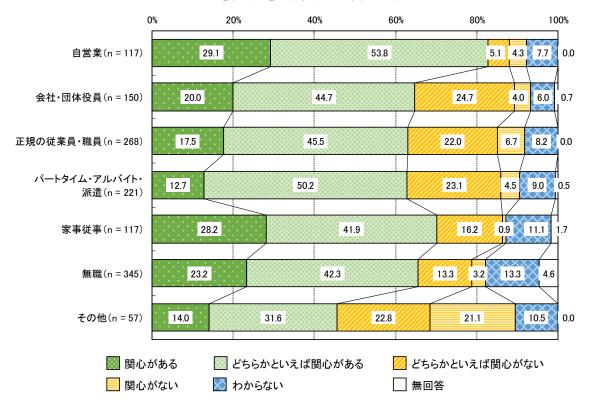


図 9-5 【職業別】 市事業への関心の有無

問9-2 市事業に関心がない理由

問9-2 「どちらかといえば関心がない」「関心がない」と答えた方にお尋ねします。 あなたが、飛騨市(行政)の事業やその進め方に関心がないのは、どのような理由 からですか。(1つだけ)

全体(図 9-2-1)でみると、「市の施設を利用したり、市の仕事に接する機会が少なかったりするから」が 32.9%と最も高く、次いで「自分たちの意見が反映されるとは思えないから」(23.5%)、「市の行政そのものに興味がないから」(17.3%)の順となっている。

前回比較(図 9-2-1)でみると、前回と比べて「自分たちの意見が反映されるとは思えないから」が 8.6 ポイント高くなっている。

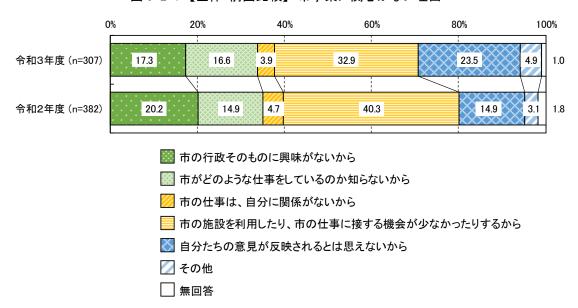
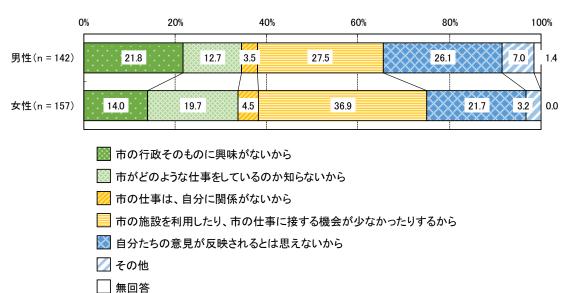


図 9-2-1 【全体・前回比較】 市事業に関心がない理由

※ 問9で「どちらかといえば関心がない」「関心がない」と答えた方のみ

性別(図 9-2-2)でみると、男女ともに「市の施設を利用したり、市の仕事に接する機会が少なかったりするから」が最も高く、男性が 27.5%、女性が 36.9%となっており、女性 が男性より 9.4 ポイント高くなっている。「市の行政そのものに興味がないから」は男性が女性より 7.8 ポイント高くなっている。

図 9-2-2 【性別】 市事業に関心がない理由



年代別(図9-2-3)でみると、16~19歳、20歳代、30歳代では「市の行政そのものに興味がないから」が最も高く、20歳代では「市がどのような仕事をしているのか知らないから」においても31.6%と最も高くなっている。40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上では「市の施設を利用したり、市の仕事に接する機会が少なかったりするから」が最も高く、40歳代では「自分たちの意見が反映されるとは思えないから」においても31.6%と最も高くなっている。

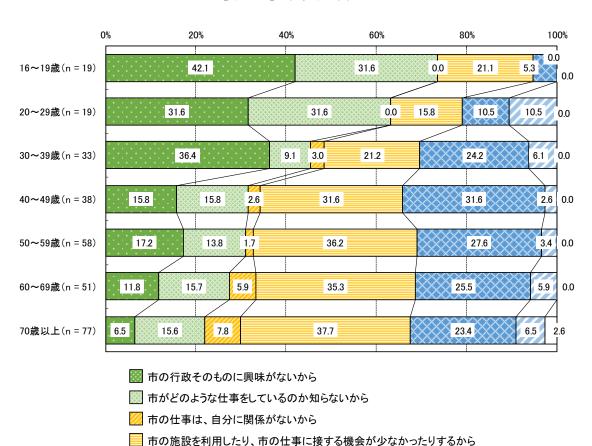


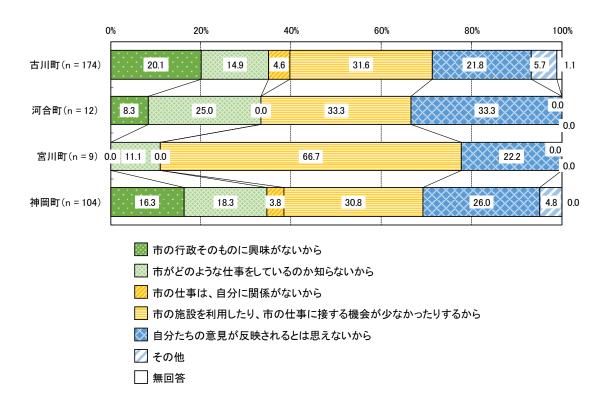
図 自分たちの意見が反映されるとは思えないから

✓ その他Ⅲ 無回答

図 9-2-3 【年代別】 市事業に関心がない理由

居住地別(図 9-2-4)でみると、いずれの居住地においても「市の施設を利用したり、市の仕事に接する機会が少なかったりするから」が最も高く、河合町では「自分たちの意見が反映されるとは思えないから」においても最も高くなっている。

図 9-2-4 【居住地別】 市事業に関心がない理由



職業別(図 9-2-5)でみると、自営業、正規の従業員・職員、その他を除くいずれの職業においても「市の施設を利用したり、市の仕事に接する機会が少なかったりするから」が最も高くなっている。自営業、その他は「市の行政そのものに興味がないから」が、正規の従業員・職員は「自分たちの意見が反映されるとは思えないから」が最も高くなっている。

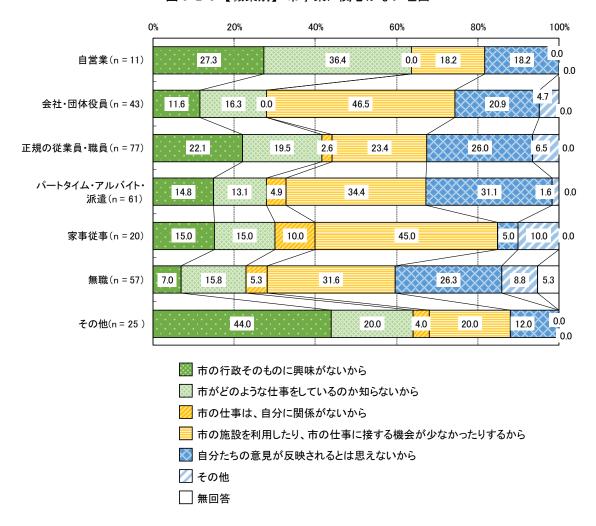


図 9-2-5 【職業別】市事業に関心がない理由

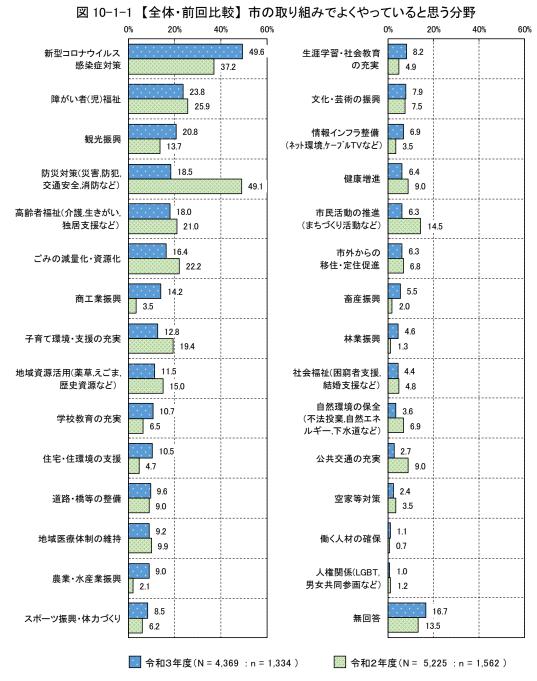
問10 市の取り組みでよくやっていると思う分野、努力が足りないと思う分野、重点的に 進めるべきだと思う分野

問10 あなたが、市の取り組みについて、よくやっていると思う分野、努力が足りないと思う 分野、今後、市が重点的に進めるべきだと思う分野は、どの分野ですか。 (それぞれ5つまで)

(1) 市の取り組みでよくやっていると思う分野

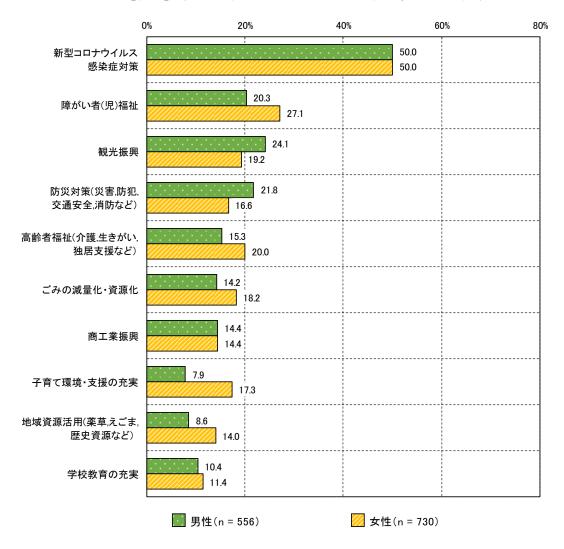
全体(図 10-1-1)でみると、「新型コロナウイルス感染症対策」が 49.6%と最も高く、次いで「障がい者(児)福祉」(23.8%)、「観光振興」(20.8%)の順となっている。

前回比較(図 10-1-1)でみると、今回では「新型コロナウイルス感染症対策」が第1位となり、前回と比べて12.4ポイント高くなっている。



性別(図 10-1-2)でみると、男女ともに「新型コロナウイルス感染症対策」が最も高く、ともに 50.0%となっている。次いで、男性は「観光振興」(24.1%)、女性は「障がい者(児)福祉」(27.1%)となっている。

図 10-1-2 【性別】 市の取り組みでよくやっていると思う分野(上位 10 施策)



年代別(図 10-1-3)でみると、いずれの年代においても「新型コロナウイルス感染症対策」が最も高く、そのうち 40 歳代が 56.8%と最も高くなっている。「障がい者(児)福祉」においても 40 歳代が 32.7%と他の年代に比べて高く、また「観光振興」では 30 歳代が 30.4%と他の年代に比べて高くなっている。

図 10-1-3 【年代別】 市の取り組みでよくやっていると思う分野(上位 10 施策)

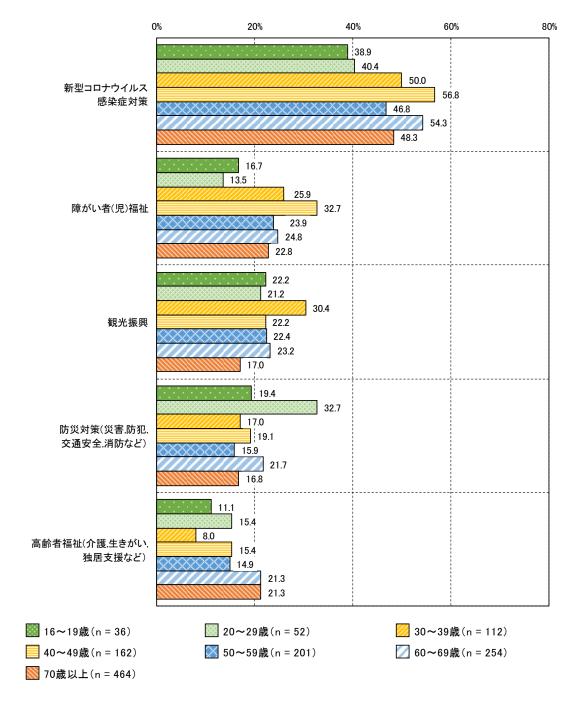
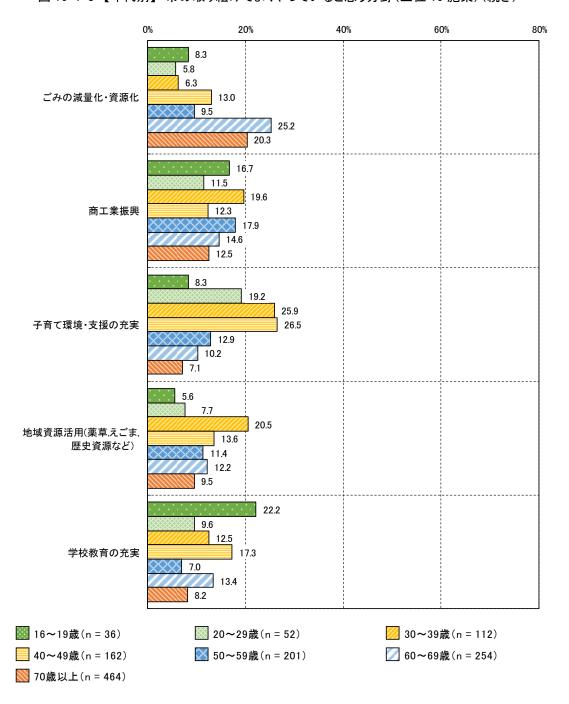
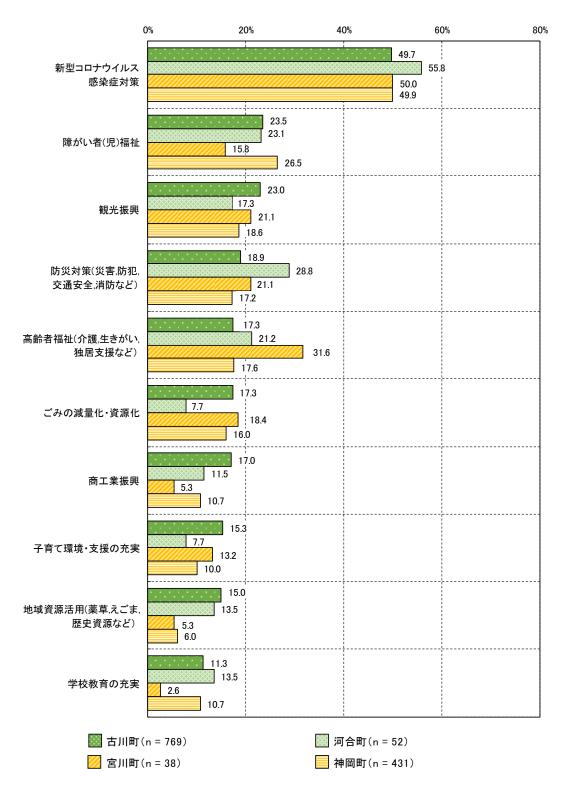


図 10-1-3 【年代別】 市の取り組みでよくやっていると思う分野(上位 10 施策)(続き)



居住地別(図 10-1-4)でみると、いずれの居住地においても「新型コロナウイルス感染症対策」が最も高く、そのうち河合町が55.8%と最も高くなっている。

図 10-1-4 【居住地別】 市の取り組みでよくやっていると思う分野(上位 10 施策)



職業別(図 10-1-5)でみると、いずれの職業においても「新型コロナウイルス感染症対策」が最も高く、そのうち正規の従業員・職員が55.2%と最も高くなっている。

図 10-1-5 【職業別】 市の取り組みでよくやっていると思う分野(上位 10 施策)

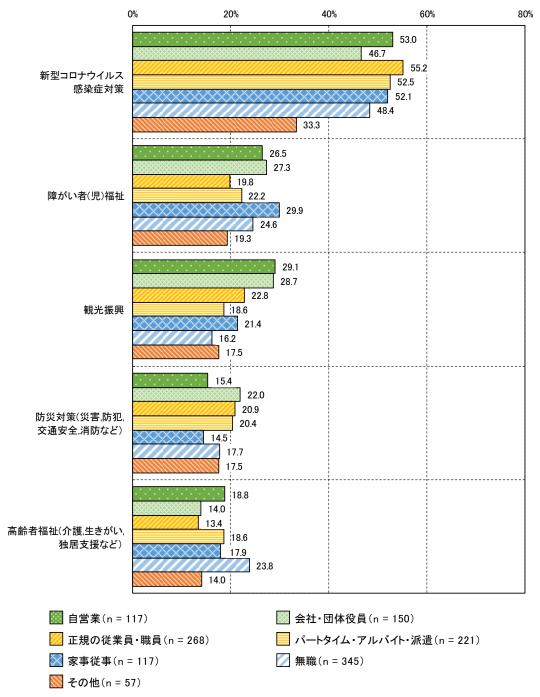
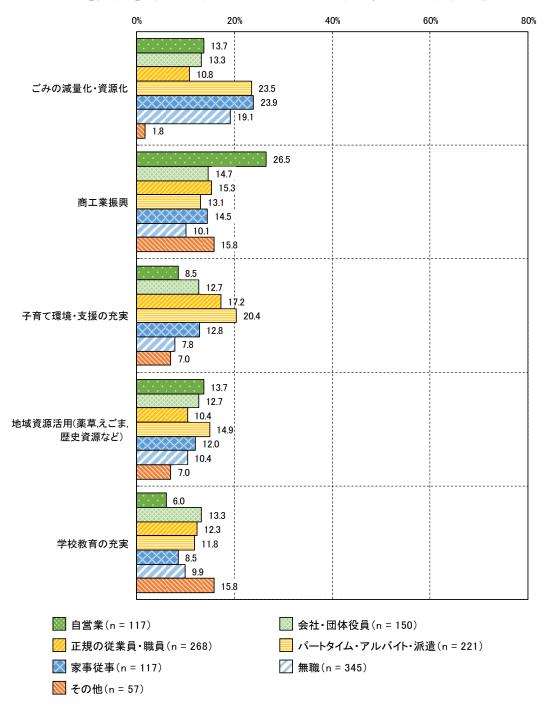


図 10-1-5 【職業別】 市の取り組みでよくやっていると思う分野(上位 10 施策) (続き)



地域年代別(図 10-1-6)でみると、古川町、神岡町ではいずれの年代においても「新型コロナウイルス感染症対策」が最も高くなっている。

図 10-1-6 【地域年代別】 市の取り組みでよくやっていると思う分野(上位 10 施策)

(%) 交通宏防災対 がい、高齢者 子育 えが地 新 ま . ま . 4 型 が て 安 の 資 感コ LI 、福 独居 校 策 環 減 量 全 観 染口 歴 者 エ 境 教 活 光 症 ナ 業 史 育 振興 消防 支援 化 用 介 支援 対ウ 児 害、 振 資 の 充実 護 源 策イ などの など 資 薬 福祉 ル の など 源 草 生 充 ス 化 全体 (n=1334) 23.8 18.5 18.0 16.4 14.2 12.8 11.5 10.7 22.2 16~19歳 (n=36)16.7 8.3 5.6 38.9 22.2 19.4 11.1 16.7 8.3 7.7 20歳代 (n=52)40.4 13.5 21.2 32.7 15.4 5.8 11.5 19.2 9.6 30歳代 (n=112)50.0 25 9 30.4 17.0 8.0 6.3 19.6 25.9 20.5 12.5 40歳代 (n=162)32.7 22.2 19.1 13.0 12.3 26.5 13.6 17.3 56.8 15.4 50歳代 (n=201) 46.8 23.9 22.4 15.9 14.9 9.5 17.9 12.9 11.4 7.0 60歳代 (n=254)54.3 24.8 21.7 21.3 12.2 13.4 23.2 25.2 14.6 10.2 70歳以上 (n=464)17.0 16.8 21.3 20.3 12.5 7.1 9.5 8.2 古川町16~19歳 12.5 29.2 (n=24)37.5 20.8 33.3 16.7 8.3 8.3 25.0 4.2 8.3 古川町20歳代 (n=36)36.1 11.1 25.0 30.6 11.1 5.6 13.9 22.2 8.3 27.4 古川町30歳代 (n=73)45.2 24.7 24.7 19.2 9.6 8.2 17.8 32.9 11.0 古川町40歳代 (n=103)29.1 23.3 22.3 13.6 16.5 30.1 16.5 18.4 59.2 12.6 古川町50歳代 (n=123)47.2 20.3 25.2 20.3 17.1 8.9 20.3 13.0 13.8 7.3 古川町60歳代 (n=142) 25.4 17.6 11.3 14.1 52 1 25 4 18.3 28 9 18.3 13.4 古川町70歳以上 (n=261)50.2 24.1 18.8 16.1 22.6 21.5 14.9 7.7 13.8 8.4 0.0 河合町16~19歳 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 50.0 (n=2)0.0 500 50.0 0.0 0.0 0.0 100.0 0.0 0.0 100.0 0.0 河合町20歳代 (n=1)0.0 0.0 河合町30歳代 25.0 25.0 25.0 0.0 0.0 25.0 0.0 0.0 25.0 (n=4)50.0 20.0 20.0 河合町40歳代 (n=10)90.0 50.0 30.0 0.0 30.0 0.0 0.0 河合町50歳代 (n=6)50.0 0.0 0.0 0.0 167 16.7 333 167 33.3 0.0 (n=7)0.0 57.1 42.9 28.6 0.0 14.3 河合町60歳代 71.4 0.0 0.0 0.0 河合町70歳以上 (n=22)45.5 27.3 4.5 40.9 27.3 13.6 4.5 4.5 9.1 18.2 域 年 0.0 宮川町16~19歳 (n=1)100.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 宮川町20歳代 (n=2) 50.0 50.0 0.0 100.0 50.0 50.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 宮川町30歳代 (n=3)100.0 33.3 66.7 0.0 0.0 0.0 33.3 0.0 0.0 宮川町40歳代 0.0 50.0 50.0 0.0 50.0 (n=2)50.0 0.0 50.0 0.0 宮川町50歳代 0.0 (n=6)50.0 33.3 33.3 0.0 16.7 16.7 0.0 33.3 0.0 宮川町60歳代 (n=11)45.5 9.1 9.1 27.3 27.3 0.0 0.0 9.1 9.1 0.0 宮川町70歳以上 (n=13)38.5 0.0 23.1 23.1 46.2 30.8 7.7 7.7 7.7 0.0 神岡町16~19歳 (n=9)44.4 11.1 0.0 22.2 11.1 11.1 0.0 0.0 0.0 11.1 神岡町20歳代 (n=13)53.8 15.4 15.4 23.1 23.1 0.0 7.7 15.4 0.0 15.4 28.1 12.5 21.9 15.6 神岡町30歳代 (n=32)56.3 40 6 6.3 3 1 9 4 15 6 神岡町40歳代 (n=47)44.7 36.2 19.1 17.0 17.0 12.8 6.4 19.1 10.6 12.8 神岡町50歳代 (n=65)46.2 32.3 18.5 10.8 10.8 9.2 13.8 10.8 6.2 7.7 神岡町60歳代 (n=94)57.4 27.7 19.1 25.5 26.6 24.5 9.6 9.6 9.6 16.0 神岡町70歳以上 (n=167)46.7 22.2 15.6 14.4 16.8 18.6 10.2 6.6 3.0 7.2

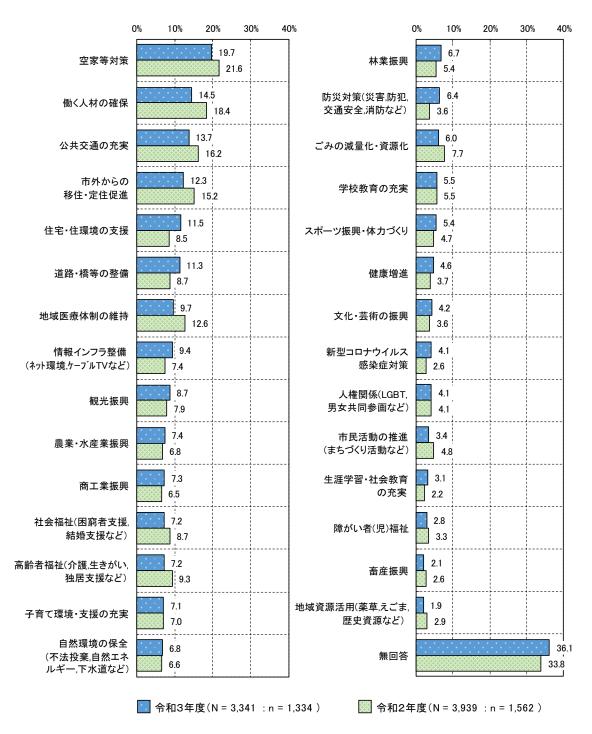
[※] 各項目について、上位2位までの回答率を網掛けにて示している。

(2) 市の取り組みで努力が足りないと思う分野

全体(図 10-2-1)でみると、「空家等対策」が 19.7%と最も高く、次いで「働く人材の確保」(14.5%)、「公共交通の充実」(13.7%)の順となっている。

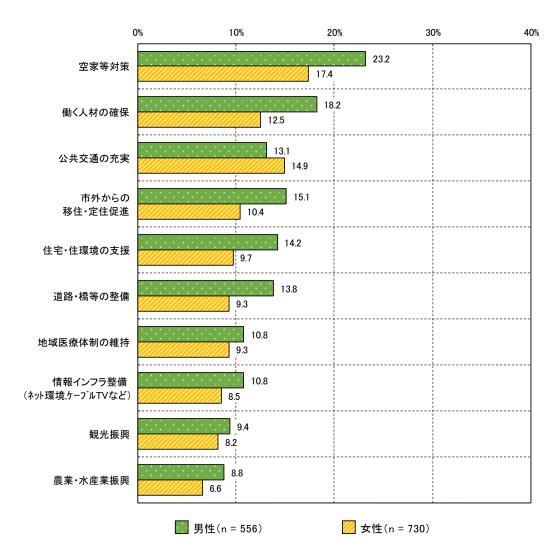
前回比較(図 10-2-1)でみると、前回と同様に「空家等対策」、「働く人材の確保」、「公共 交通の充実」の順となっている。

図 10-2-1 【全体・前回比較】市の取り組みで努力が足りないと思う分野



性別(図 10-2-2)でみると、男女ともに「空家等対策」が最も高く、男性が 23.2%、女性が 17.4%となっており、男性が女性より 5.8 ポイント高くなっている。次いで、男性は「働く人材の確保」(18.2%)、女性は「公共交通の充実」(14.9%)となっている。

図 10-2-2 【性別】 市の取り組みで努力が足りないと思う分野(上位 10 施策)



年代別(図 10-2-3)でみると、16~19歳、50歳代は「働く人材の確保」が最も高く、20歳代、30歳代は「公共交通の充実」、40歳代、60歳代、70歳以上は「空家等対策」が最も高くなっている。

図 10-2-3 【年代別】 市の取り組みで努力が足りないと思う分野(上位 10 施策)

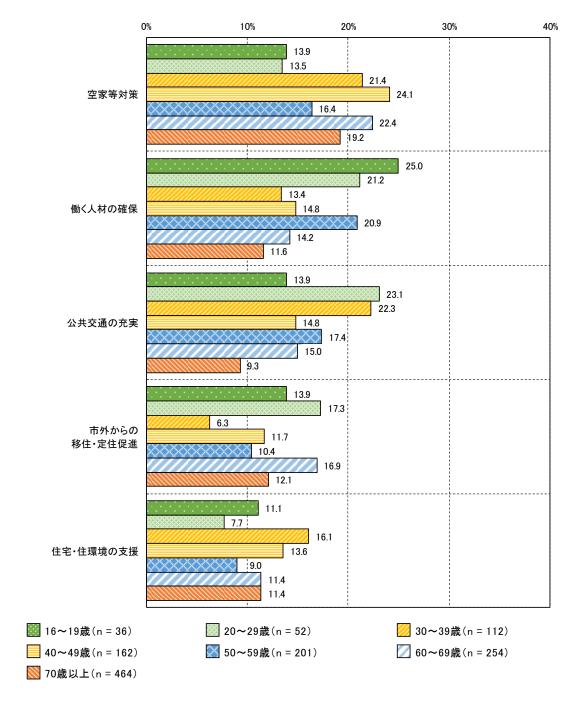
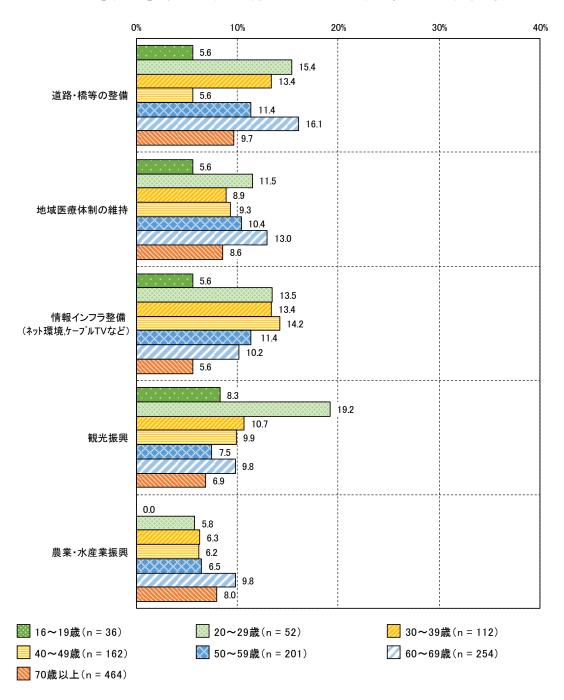
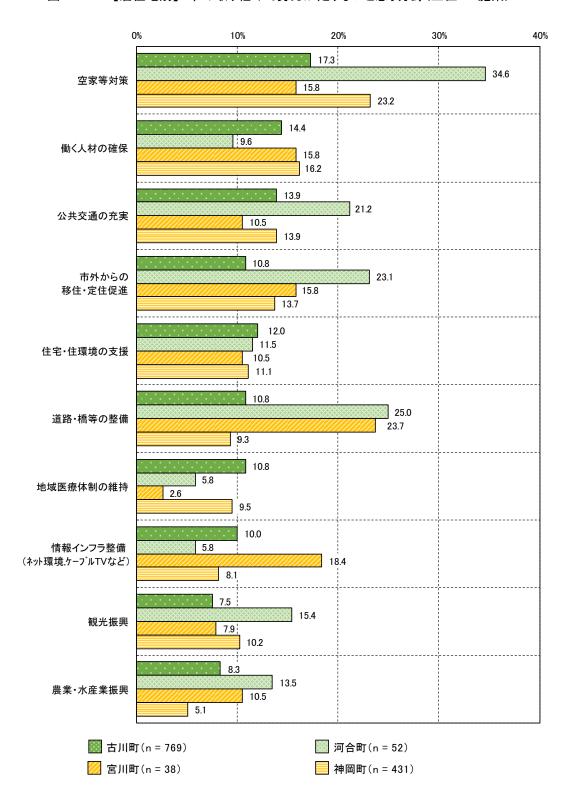


図 10-2-3 【年代別】 市の取り組みで努力が足りないと思う分野(上位 10 施策)(続き)



居住地別(図 10-2-4)でみると、宮川町を除くいずれの居住地においても「空家等対策」が最も高く、そのうち河合町が 34.6%と最も高くなっている。宮川町では「道路・橋等の整備」が最も高くなっている。

図 10-2-4 【居住地別】 市の取り組みで努力が足りないと思う分野(上位 10 施策)



職業別(図 10-2-5)でみると、正規の従業員・職員、その他を除くいずれの職業においても「空家等対策」が最も高く、正規の従業員・職員は「公共交通の充実」が最も高くなっている。

図 10-2-5 【職業別】 市の取り組みで努力が足りないと思う分野(上位 10 施策)

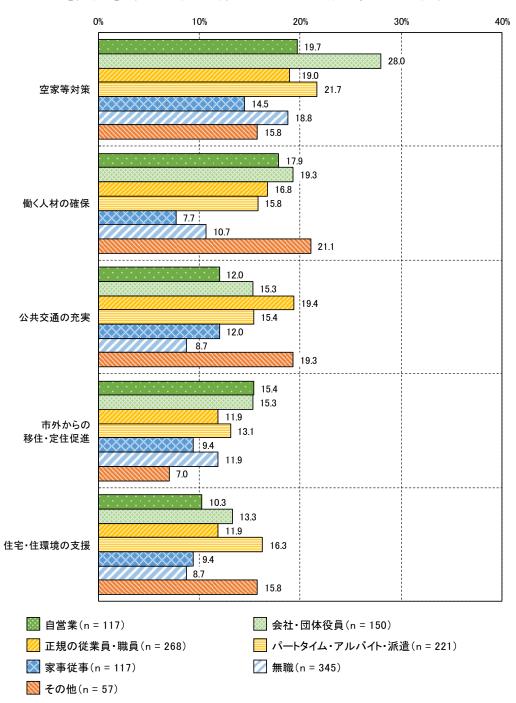
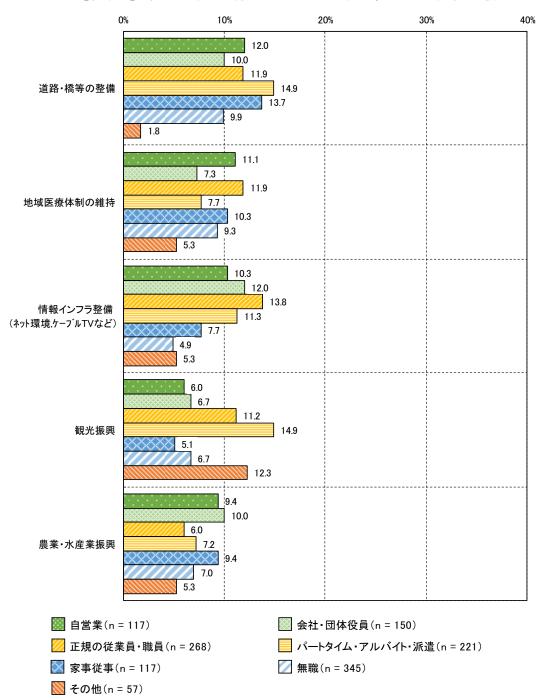


図 10-2-5 【職業別】市の取り組みで努力が足りないと思う分野(上位 10 施策) (続き)



地域年代別(図 10-2-6)でみると、古川町、神岡町の 40 歳代、60 歳代、70 歳以上では「空家等対策」が最も高くなっている。

図 10-2-6 【地域年代別】 市の取り組みで努力が足りないと思う分野(上位 10 施策)

(%) 地 ネ情 市 道 宅 公 域 ッ報 路 業 < 医 Tトイ 空 共交通 定か 観 人 家等対 住 療 V環ン 住ら 橋 光 水 材の 体 環 な境フ 促の 等 産 の 境 制 ど 、ラ 業振 の 淮 移 興 充実 -〜ケの | 整 確 の の 整 住 支 維 興 備 援 ブ備 持 ル 全体 (n=1334) 7.4 19.7 14.5 13.7 12.3 11.5 11.3 9.7 9.4 8.7 16~19歳 (n=36) 0.0 13.9 13.9 25.0 13.9 11.1 5.6 5.6 5.6 8.3 20歳代 (n=52)13.5 21.2 23.1 17.3 7.7 15.4 11.5 13.5 19.2 5.8 30歳代 (n=112)6.3 10.7 6.3 21.4 13.4 22.3 16.1 13.4 8.9 13.4 40歳代 11.7 9.3 6.2 (n=162) 24.1 14.8 14.8 13.6 5.6 14.2 9.9 50歳代 (n=201)16.4 20.9 17.4 10.4 9.0 11.4 10.4 11.4 7.5 6.5 60歳代 (n=254)22.4 14.2 15.0 16.9 11.4 16.1 13.0 10.2 9.8 9.8 70歳以上 (n=464)19.2 11.6 9.3 12.1 11.4 9.7 8.6 5.6 6.9 8.0 古川町16~19歳 (n=24) 12.5 29.2 12.5 16.7 12.5 8.3 4.2 8.3 4.2 0.0 古川町20歳代 (n=36)13.9 13.9 25.0 16.7 8.3 13.9 8.3 13.9 19.4 8.3 16.4 (n=73)17.8 164 123 123 11.0 11.0 6.8 古川町30歳代 4.1 17.8 古川町40歳代 (n=103)20.4 19.4 19.4 11.7 11.7 16.5 9.7 7.8 16.5 17.1 4.9 古川町50歳代 (n=123)13.0 13.0 10.6 9.8 8.9 11.4 11.4 6.5 (n=142) 12.0 14.8 12.0 10.6 5.6 11.3 古川町60歳代 19.7 17.6 16.2 13.4 古川町70歳以上 (n=261)17.6 11.1 8.4 9.2 10.0 96 9.2 6.1 6.1 9.2 河合町16~19歳 (n=2)0.0 50.0 0.0 50.0 0.0 0.0 0.0 0.0 100.0 0.0 0.0 河合町20歳代 (n=1) 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 100.0 0.0 0.0 100.0 河合町30歳代 0.0 0.0 0.0 25.0 0.0 (n=4)50.0 50.0 0.0 0.0 0.0 河合町40歳代 (n=10) 40.0 0.0 20.0 20.0 10.0 20.0 0.0 10.0 20.0 10.0 河合町50歳代 (n=6)0.0 16.7 50.0 0.0 16.7 33.3 16.7 16.7 16.7 0.0 28.6 0.0 14.3 28.6 14.3 14.3 0.0 0.0 14.3 河合町60歳代 (n=7)13.6 河合町70歳以上 (n=22)45.5 13.6 13.6 31.8 18.2 45 0.0 9.1 22.7 年 宮川町16~19歳 (n=1)0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 宮川町20歳代 (n=2)0.0 0.0 0.0 50.0 0.0 0.0 0.0 0.0 50.0 0.0 宮川町30歳代 (n=3)0.0 0.0 33.3 0.0 0.0 66.7 0.0 66.7 0.0 33.3 宮川町40歳代 (n=2)0.0 0.0 0.0 50.0 0.0 0.0 0.0 50.0 0.0 0.0 (n=6)16.7 0.0 16.7 16.7 0.0 16.7 0.0 宮川町50歳代 50.0 33.3 50.0 宮川町60歳代 27.3 9.1 18.2 18.2 9.1 45.5 9.1 18.2 0.0 0.0 (n=11)0.0 宮川町70歳以上 (n=13)154 15.4 7 7 7.7 15.4 0.0 0.0 77 15.4 22.2 11.1 0.0 0.0 神岡町16~19歳 (n=9)22.2 11.1 0.0 11.1 0.0 0.0 0.0 神岡町20歳代 (n=13)15.4 46.2 23.1 15.4 7.7 15.4 23.1 15.4 7.7 12.5 神岡町30歳代 (n=32)28.1 9.4 31.3 12.5 15.6 12.5 3.1 12.5 3.1 神岡町40歳代 (n=47)29.8 8.5 4.3 8.5 8.5 0.0 6.4 8.5 8.5 2.1 神岡町50歳代 (n=65)24.6 24.6 10.8 6.2 12.3 9.2 10.8 9.2 6.2 26.2 神岡町60歳代 (n=94)25.5 19.1 10.6 19.1 10.6 9.6 12.8 9.6 18.1 8.5 神岡町70歳以上 12.0 7.2 10.2 14.4 13.2 9.6 9.0 5.4 4.8 (n=167)18.6

[※] 各項目について、上位2位までの回答率を網掛けにて示している。

(3) 市の取り組みで重点的に進めるべきだと思う分野

全体(図 10-3-1)でみると、「空家等対策」が 23.1%と最も高く、次いで「地域医療体制の維持」(21.4%)、「働く人材の確保」(19.3%)の順となっている。

前回比較(図 10-3-1)でみると、前回と同様に「空家等対策」、「地域医療体制の維持」の順となっている。

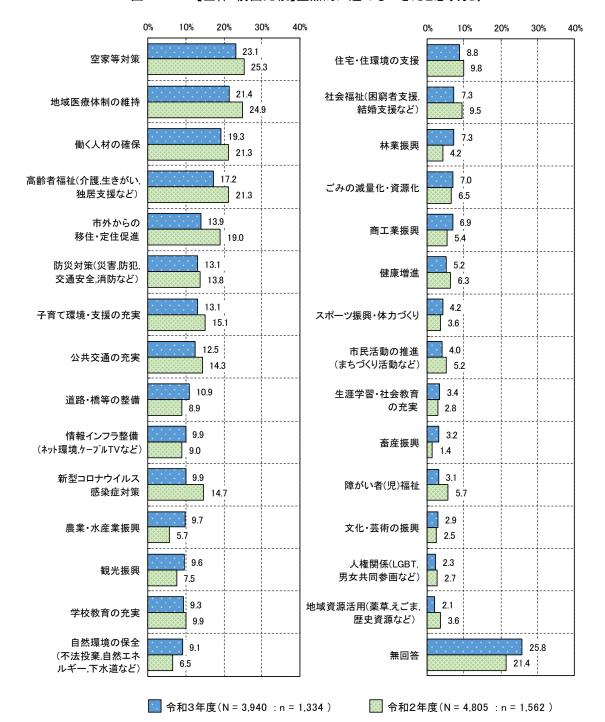
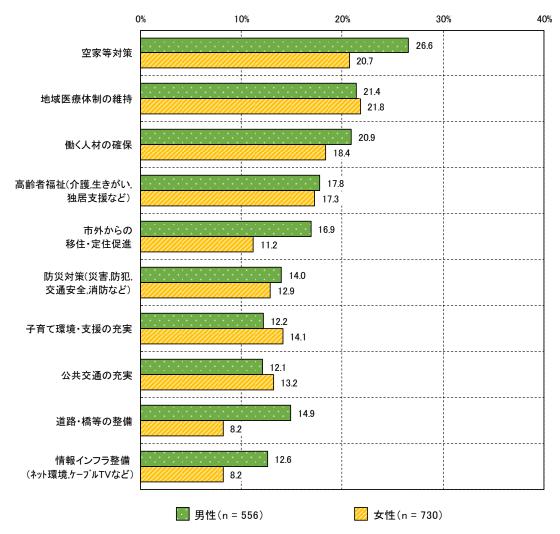


図 10-3-1 【全体・前回比較】重点的に進めるべきだと思う分野

性別(図 10-3-2)でみると、男性は「空家等対策」が 26.6%と最も高く、女性は「地域 医療体制の維持」が 21.8%と最も高くなっている。

図 10-3-2 【性別】 重点的に進めるべきだと思う分野(上位 10 施策)



年代別(図 10-3-3)でみると、16~19歳は「働く人材の確保」「公共交通の充実」が19.4%と最も高く、20歳代は「働く人材の確保」が21.2%、30歳代は「地域医療体制の維持」、「子育て環境・支援の充実」、「情報インフラ整備(ネット環境, ケーブル TV など)」が20.5%と最も高くなっている。また、40歳代は「地域医療体制の維持」が、50歳代は「働く人材の確保」が、60歳代、70歳以上では「空家等対策」が最も高くなっている。

図 10-3-3【年代別】 重点的に進めるべきだと思う分野(上位 10 施策)

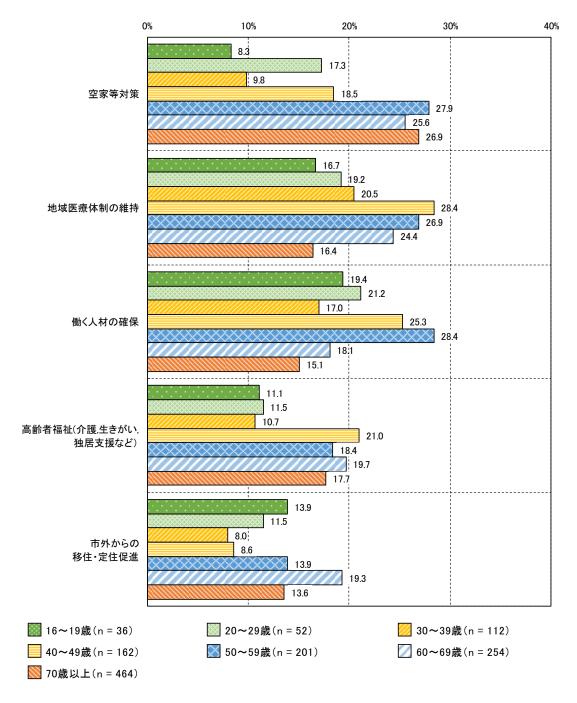
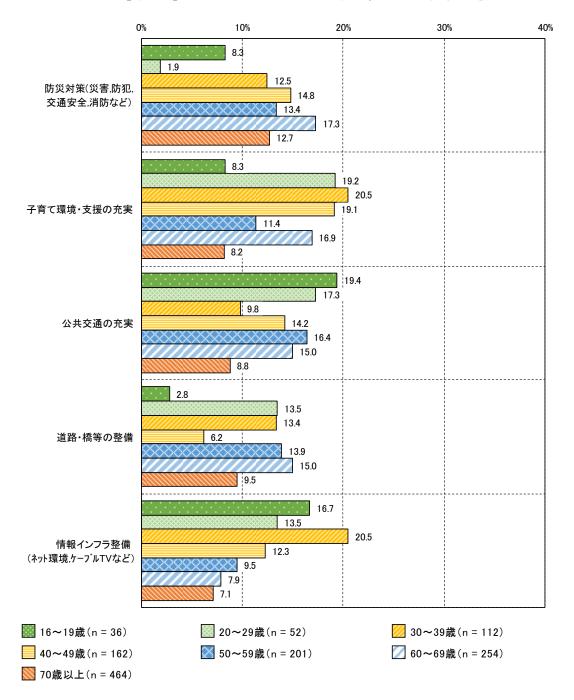
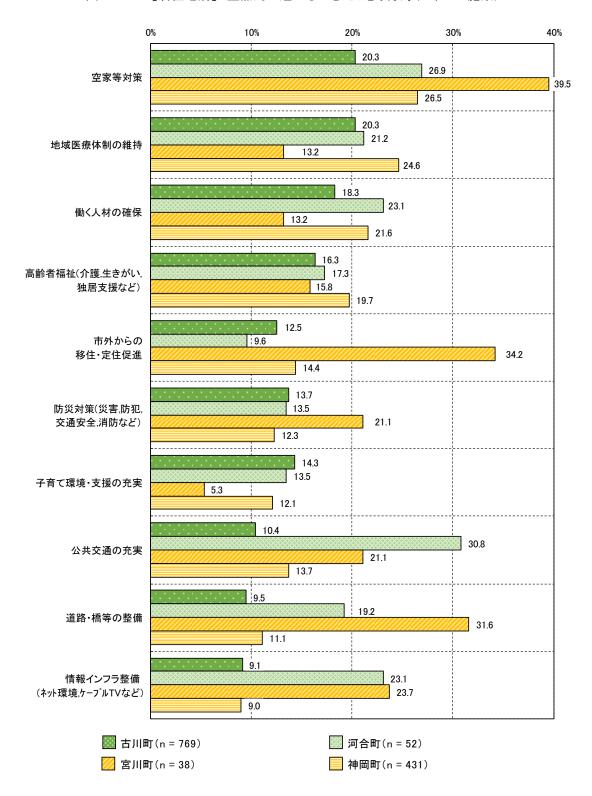


図 10-3-3 【年代別】 重点的に進めるべきだと思う分野(上位 10 施策) (続き)



居住地別(図 10-3-4)でみると、河合町を除くいずれの居住地においても「空家等対策」が最も高く、そのうち宮川町が 39.5%と最も高くなっている。古川町は「地域医療体制の維持」においても最も高くなっている。河合町では「公共交通の充実」が 30.8%と最も高くなっている。

図 10-3-4 【居住地別】 重点的に進めるべきだと思う分野(上位 10 施策)

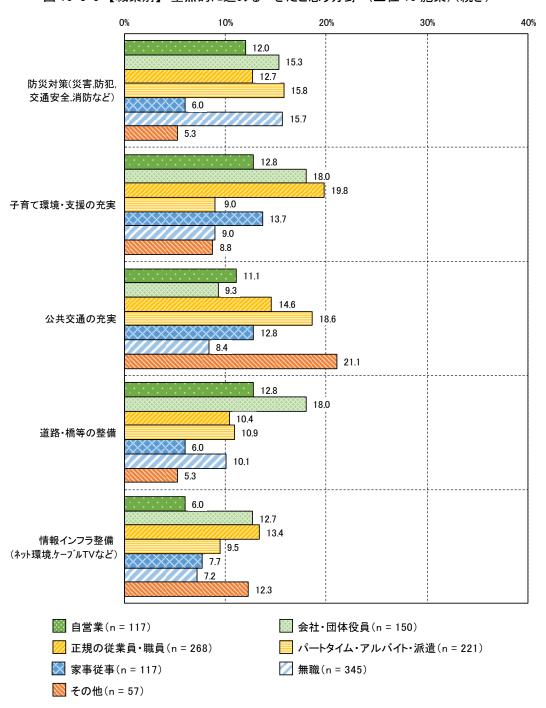


職業別(図 10-3-5)でみると、自営業、パートタイム・アルバイト・派遣、家事従事、無職は「空家等対策」が最も高く、会社・団体役員は「働く人材の確保」が、正規の従業員・職員は「地域医療体制の維持」が最も高くなっている。

30% 10% 20% 40% 28.2 22.7 20.1 空家等対策 24.9 8.8 19.7 28.4 地域医療体制の維持 23.5 18.8 19.1 19.7 24.7 27.6 働く人材の確保 18.1 14.5 12.8 17.5 13.7 20.0 20.5 高齢者福祉(介護,生きがい, 14.5 独居支援など) 15.4 18.8 10.5 10.3 13.3 13.4 市外からの 16.3 移住,定住促進 15.4 12.3 ■ 自営業(n = 117) 会社・団体役員(n = 150) 正規の従業員・職員(n = 268) パートタイム・アルバイト・派遣(n = 221) ▼ 家事従事(n = 117) 無職(n = 345)

図 10-3-5 【職業別】 重点的に進めるべきだと思う分野(上位 10 施策)

図 10-3-5 【職業別】 重点的に進めるべきだと思う分野 (上位 10 施策)(続き)



地域年代別(図10-3-6)でみると、古川町、神岡町の70歳以上ではいずれも「空家等対策」が最も高くなっている。

図 10-3-6 【地域年代別】 重点的に進めるべきだと思う分野 (上位 10 施策)

												(%)
			空家等対策	地域医療体制の維持	働く人材の確保	がい、独居支援など)高齢者福祉(介護、生き	市外からの移住・	交通安全、消防など)防災対策(災害、防犯、	子育て環境・支援の充実	公共交通の充実	道路・橋等の整備	TVなど)(ネット環境、ケーブル情報インフラの整備
	全体	(n=1334)	23.1	21.4	19.3	17.2	13.9	13.1	13.1	12.5	10.9	9.9
年代	16~19歳	(n=36)	8.3	16.7	19.4	11.1	13.9	8.3	8.3	19.4	2.8	16.7
	20歳代	(n=52)	17.3	19.2	21.2	11.5	11.5	1.9	19.2	17.3	13.5	13.5
	30歳代	(n=112)	9.8	20.5	17.0	10.7	8.0	12.5	20.5	9.8	13.4	20.5
	40歳代	(n=162)	18.5	28.4	25.3	21.0	8.6	14.8	19.1	14.2	6.2	12.3
	50歳代	(n=201)	27.9	26.9	28.4	18.4	13.9	13.4	11.4	16.4	13.9	9.5
	60歳代	(n=254)	25.6	24.4	18.1	19.7	19.3	17.3	16.9	15.0	15.0	7.9
	70歳以上	(n=464)	26.9	16.4	15.1	17.7	13.6	12.7	8.2	8.8	9.5	7.1
地域年代	古川町16~19歳	(n=24)	12.5	20.8	12.5	12.5	12.5	8.3	8.3	20.8	4.2	16.7
	古川町20歳代	(n=36)	13.9	19.4	16.7	13.9	11.1	2.8	25.0	13.9	13.9	11.1
	古川町30歳代	(n=73)	5.5	26.0	19.2	11.0	8.2	16.4	24.7	6.8	6.8	19.2
	古川町40歳代	(n=103)	22.3	29.1	22.3	23.3	7.8	15.5	19.4	15.5	6.8	13.6
	古川町50歳代	(n=123)	26.0	24.4	30.9	17.9	12.2	12.2	12.2	13.8	11.4	7.3
	古川町60歳代	(n=142)	22.5	20.4	15.5	16.2	19.0	19.7	16.2	11.3	13.4	6.3
	古川町70歳以上	(n=261)	21.8	13.8	13.4	15.3	12.3	11.9	8.8	5.7	8.4	5.7
	河合町16~19歳	(n=2)	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0
	河合町20歳代	(n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	河合町30歳代	(n=4)	0.0	25.0	25.0	50.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0
	河合町40歳代	(n=10)	20.0	20.0	40.0	10.0	20.0	10.0	20.0	40.0	20.0	20.0
	河合町50歳代	(n=6)	16.7	33.3	16.7	16.7	0.0	16.7	16.7	50.0	33.3	33.3
	河合町60歳代	(n=7)	42.9	28.6	28.6	14.3	0.0	14.3	28.6	42.9	0.0	28.6
	河合町70歳以上	(n=22)	36.4	13.6	18.2	18.2	9.1	18.2	4.5	22.7	22.7	13.6
	宮川町16~19歳	(n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	宮川町20歳代	(n=2)	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0
	宮川町30歳代	(n=3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	66.7
	宮川町40歳代	(n=2)	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	宮川町50歳代	(n=6)	50.0	33.3	50.0	0.0	16.7	33.3	33.3	16.7	16.7	33.3
	宮川町60歳代	(n=11)	36.4	18.2	0.0	36.4	27.3	27.3	0.0	18.2	54.5	9.1
	宮川町70歳以上	(n=13)	46.2	0.0	7.7	15.4	61.5	23.1	0.0	23.1	30.8	7.7
	神岡町16~19歳	(n=9)	0.0	0.0	44.4	11.1	22.2	11.1	11.1	11.1	0.0	11.1
	神岡町20歳代	(n=13)	15.4	15.4	38.5	7.7	15.4	0.0	7.7	23.1	15.4	7.7
	神岡町30歳代	(n=32)	21.9	9.4	12.5	6.3	6.3	6.3	12.5	15.6	25.0	18.8
	神岡町40歳代	(n=47)	10.6	29.8	27.7	19.1	6.4	14.9	19.1	6.4	2.1	4.3
	神岡町50歳代	(n=65)	30.8	30.8	23.1	21.5	18.5	13.8	7.7	18.5	16.9	9.2
	神岡町60歳代	(n=94)	27.7	30.9	23.4	23.4	20.2	12.8	19.1	18.1	13.8	8.5
	神岡町70歳以上	(n=167)	32.3	22.2	18.0	21.6	12.6	12.6	8.4	10.8	7.8	8.4

[※] 各項目について、上位 2 位までの回答率を網掛けにて示している。

問11 自由意見

問11 飛騨市の市政について、ご意見やご要望がありましたらご自由にご記入ください。

	内容	件数
[ī	市政全般】	119
•	市長(市政)への評価と期待	52
•	市政に関する要望	42
•	税金の見直し(減税や補助金)	23
•	議員定数の見直し(削減)	2

	【新型コロナウイルス感染症対策等】	16
•	新型コロナウイルス感染症対策への評価と期待	12
•	経済や生活への不安	3
•	密を避ける制限や対策の見直し	1

【人口・移住・定住】	24
・ 少子高齢化への不安	10
・ 人口増加への対策と支援	8
・ 若者が定住できる対策と支援	6

【都市基盤(道路・河川・水道等)・公共交通】	50
・ 道路・歩道の整備	13
・ 公共交通の充実	10
・ 資源ごみの捨て方への不満	9
・除雪、融雪剤の量への不満	8
・ ごみ持ち込み、引き取りに関する評価	4
・ 道路整備への評価	2
・ ごみ袋の値段への不満	2
・ 河川の整備	1
・ 上水道・下水道の料金への不満	1

【就業・企業誘致・産業振興・雇用】	31
・ 若者への就労支援	11
・ 優良企業や大規模工場の誘致	10
• 人材確保	4
• 農業振興	3
・ 非正規職員等への処遇改善強化	1
・ 流葉スキー場発展への協力	1
・ ふるさと納税返礼品の品質維持	1

【観光・イベント・レジャー・商業施設】	13
観光施策の推進、観光資源のPR	10
・ 婚活イベント等の実施	1
・駅前や観光地での商業施設の充実	1
・ 道の駅の活性化	1
	·
【生活環境・住環境・景観保全】	19
・ 空家対策と活用	7
・ 害虫・害獣駆除	3
・ 山、田畑の売却	3
・ 住みやすい環境づくり	3
・ 市営住宅の増設、クリーニングの強化	3
【防災・防犯・交通安全】	8
・ 土砂災害・水害対策への要望	6
・ 災害時の情報提供等	1
・ 避難場所に対する不安	1
	·
【公共施設・公園の整備】	6
・ 公共施設・用地の整備	3
・ ウォーキングやドッグラン等の施設の充実	2
・ 公園の管理・整備	1
【住民自治・市民参画・地域活動】	9
町内会の負担軽減	5
・ 祭りへの参加人数の減少	2
・ 回覧板の廃止・見直し、町内会配布物の見直し	2
【モラル・マナー】	5
・ 不法投棄 (ごみの捨て方)	3
・ 犬、猫のフン	2
【医療・介護・福祉】	29
・ 福祉への取り組みに対する評価	8
医療施設や医療体制の充実	8
・ 介護施設や老人介護の充実	5
・ 老後の心配	4
・ 介護・福祉への不満	4

【子育て・教育】	35
・大学誘致への賛否	9
・ 子育て支援への評価	7
・ 子育て支援充実への要望	7
・ 学校教育への要望	6
・ 小中学校への要望	3
・家庭での教育	2
・ 学校教育への評価	1
【学習・文化芸術・スポーツ】	7
・ 子どもが遊べる施設の充実	4
・ 屋内施設の設備の充実	2
・ 老後のサークル活動の充実	1
【情報通信・情報公開・市報】	21
・ 情報インフラの整備(Wi-Fi 整備等)	9
・ 防災行政無線放送に対する要望	4
・ 情報公開に対する評価	4
・ 広報に対する批判	2
・ ケーブルテレビの内容の充実	2
【職員の対応・意識等】	22
・ 職員への苦情	14
・職員への評価と期待	8
【その他】	16
・特にない	9
・ 世論調査への評価	4
・よくわからない	3

問12 自由意見

問12 新型コロナウイルス感染症に関して、生活、職場等で影響を受けていることがありましたら、ご記入ください。

内容	件数
・ 仕事・収入について	51
・ ワクチン接種について	44
・ 私生活について	44
・ 行政・支援	24
・ コロナ感染への不安	20
・ 教育・学生生活	11
・ ストレス	9
· 人間関係	7
その他	5
・ 特になし	33

Ⅲ 資料

3. 1 単純集計結果

令和3年度 飛騨市 市政世論調査 単純集計結果

令和3年7月実施 飛騨市

目 次

I 調査概要	1
1. 1 調査の目的	1
1.2 調查項目	1
1.3 調査の設計	1
1.4 回収結果	1
1.5 標本誤差	2
1.6 報告書の見方	2
1.7 対象者の属性	3
Ⅱ 調査結果	7
2. 1 暮らしについて	7
 問1 暮らしの前年比較	
問1-2 暮らしが苦しくなったと感じる理由	
問2 暮らしの満足度	
問3 生活面での不安	10
問4 今後の暮らしの中で重視していきたいこと	11
問5 生活に必要な情報の入手媒体	12
問6 現在住んでいる地域は住みやすいか	13
問6-2 住んでいる地域が住みやすいと感じる点	14
問6-3 住んでいる地域が住みにくいと感じる点	15
問7 今後も飛騨市に住み続けたいか	16
2. 2 市の取組み全般について	17
問8 施策や事業についての情報の入手方法	17
問9 市事業への関心の有無	18
問9-2 市事業に関心がない理由	19
問10 市の取り組みで(1)よくやっていると思う分野	
(2)努力が足りないと思う分野	
(3) 今後、市が重点的に進めるべきだと思う分野	20

I 調査概要

1. 1 調査の目的

飛騨市民の意識、興味、関心、満足度などの経年変化を調査し、市政運営の基礎資料とする。

1. 2 調査項目

- (1) 暮らしについて
- (2) 市の取組み全般について

1. 3 調査の設計

(1)調査地域 飛騨市全域

(2)調査対象 飛騨市内在住の満16歳以上の男女個人(約20,00人)

(3)標本数 2,000人

(4) 抽出方法 層化二段無作為抽出法

(5) 調査方法 郵送法

(6)調査時期 令和3年7月6日~7月26日

(7) 調査実施機関 株式会社 中部タイム・エージェント

1. 4 回収結果

標本数	回収数	回収数 有郊回答数 回収率			
(A)	(B)	(C)	(C) (B/A)		
2,000	1, 336	1, 334	66.8%	66. 7%	

1.5 標本誤差

調査結果には統計上多少の誤差が生じることがあるため、調査結果をみる場合、一定の幅を持たせてみる必要がある。その幅を標本誤差といい、以下の式で表される。

標本誤差=
$$\pm 1.96$$
 P (100 $-P$) (ただし、 P :回答比率 n :回答者数)

すなわち、標本誤差の幅は①回答者数 (n) 及び②回答比率 (P) によって異なる。上式を用いた各回答者数、回答比率における標本誤差を以下の表に示す。

		P (回答比率 %)									
	n(回答者数 人)	5又 は95	10 又 は 90	15 又 は85	20 又 は80	25 又 は75	30 又 は70	35 又 は65	40 又 は60	45 又 は55	50
総数	1, 334	1.2	1.6	1. 9	2. 1	2.3	2.5	2. 6	2.6	2.7	2.7

- (注) 1. 層化を行った場合、誤差は上表より若干増減することもある。
 - 2. この表の見方は以下のとおりである。

「ある設問の回答者数が 1,334 人であり、その設問中の選択肢の回答比率が 50%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±2.7%である。」

1.6 報告書の見方

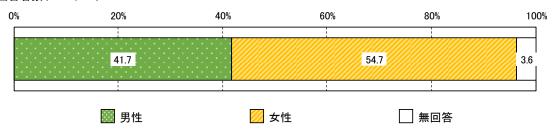
- (1) 比率は全てパーセントで表し、小数点第 2 位を四捨五入して算出した。そのため、パーセントの合計が 100.0%にならない場合がある。
- (2) 基数となるべき実数は「n」(件数) として掲載した。したがって比率は、n を 100%として算出している。
- (3) 複数回答が可能な設問では総回答数を「N」として掲載した。その場合、その項目を選んだ人が、回答者全体のうち何%を占めるのかという見方をする。したがって、各項目の比率の合計は、通常 100% を超える。
- (4) 本報告書中の表、グラフ及び本文で使われている選択肢の表現は、本来の意味を 損なわない程度に省略している場合がある。

1.7 対象者の属性

F-1 性別

図 F-1 性別

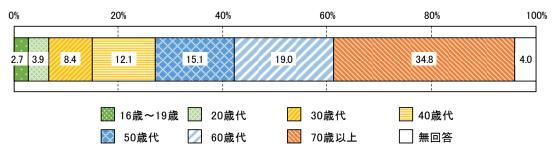
回答者数(n = 1,334)



F-2 年代

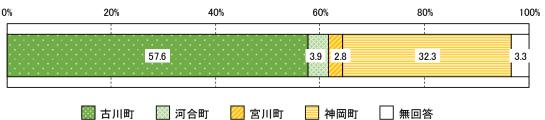
図 F-2 年代

回答者数(n = 1,334)



F-3 居住地

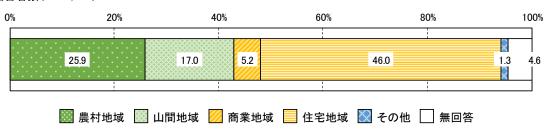
図 F-3 居住地



F-4 居住地周囲の環境

図 F-4 居住地周囲の環境

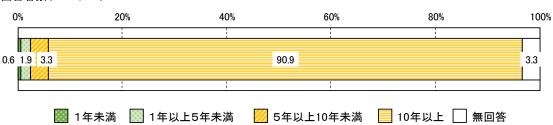
回答者数(n = 1,334)



F-5 居住年数

図 F-5 居住年数

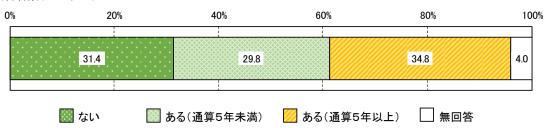
回答者数(n = 1,334)



F-6 市外居住経験の有無

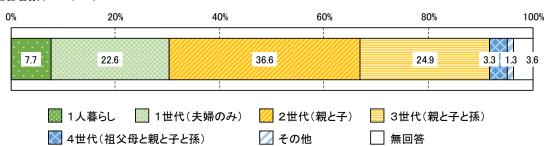
図 F-6 市外居住経験の有無

回答者数(n = 1,334)



F-7 家族形態

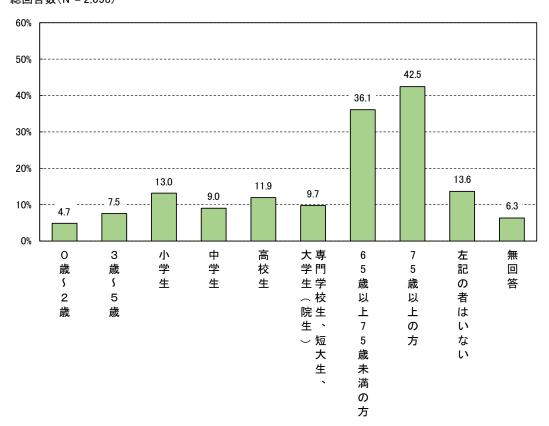
図 F-7 家族形態



F-8 家族構成

図 F-8 家族構成

回答者数(n = 1,334) 総回答数(N = 2,058)



F-9 職業

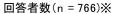
図 F-9 職業

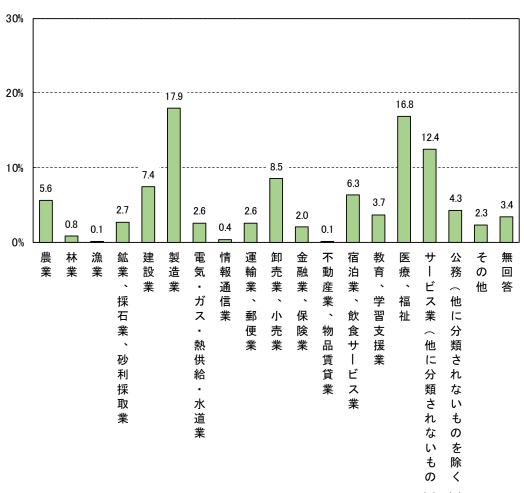
回答者数(n = 1,334) 100% 20% 40% 60% 80% 8.8 0.7 20.1 11.2 16.6 2.9 8.8 25.9 0.6 4.4 🔛 自営業 自由業※ 会社·団体役員 ☑ パートタイム・アルバイト・派遣 ■正規の従業員・職員 学生 無職 - その他 ■ 家事従事 無回答

※ 自由業:一定の雇用関係によらず、勤務時間その他の制約を受けない職業。作家、弁護士、医師、会計士、 税理士、芸術家など

F-10 業種

図 F-10 業種

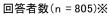


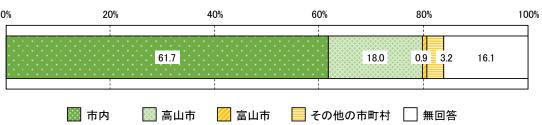


※「F9 職業」で、自営業、自由業、会社・団体役員、正規の従業員・職員、パートタイム・アルバイト・派遣と答えた方のみ

F-11 通勤、通学先

図 F-1 1 通勤、通学先





※「F9 職業」で、自営業、自由業、会社・団体役員、正規の従業員・職員、パートタイム・アルバイト・派遣、 学生と答えた方のみ

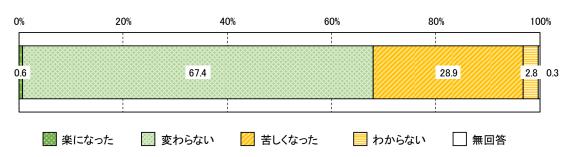
Ⅱ 調査結果

2. 1 暮らしについて

問1 暮らしの前年比較

問1 あなたやあなたの家庭の暮らし向き(家計など)は、去年の今頃と比べてどうですか。 (1つだけ)

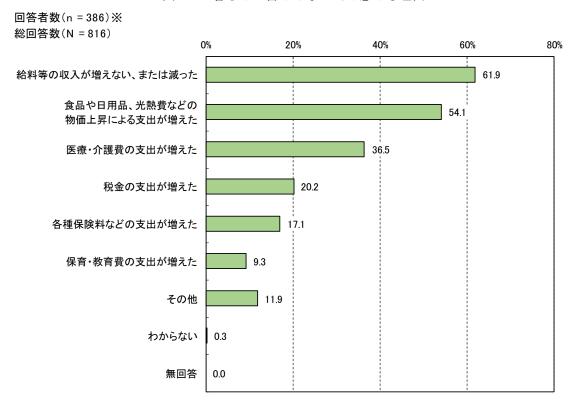
図1 暮らしの前年比較



問1-2 暮らしが苦しくなったと感じる理由

問1-2 「苦しくなった」と答えた方にお尋ねします。 あなたが、暮らしが苦しくなったと感じるのは、どのような理由からですか。 (3つまで)

図 1-2 暮らしが苦しくなったと感じる理由

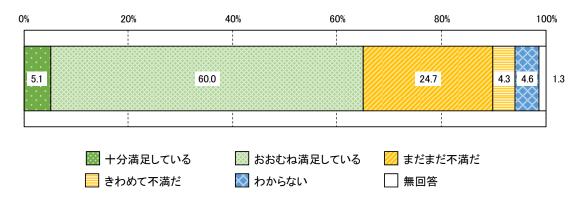


※ 問1で「苦しくなった」と答えた方のみ

問2 暮らしの満足度

問2 あなたは、現在の暮らし全般(生活環境など)についてどう思いますか。(1つだけ)

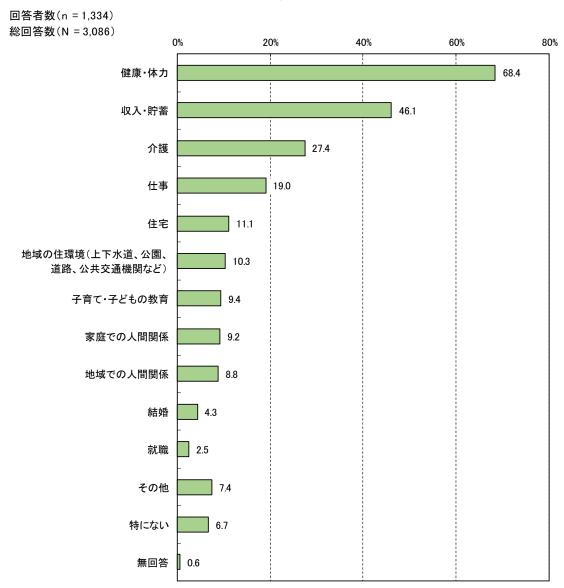
図2 暮らしの満足度



問3 生活面での不安

問3 あなたは、日頃の暮らしの中で、どのようなことに悩みや不安を感じていますか。 (3つまで)

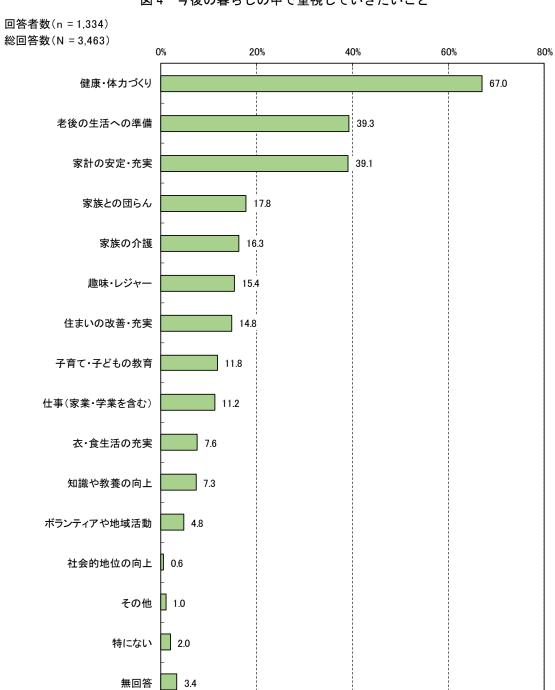
図3 生活面での不安



問4 今後の暮らしの中で重視していきたいこと

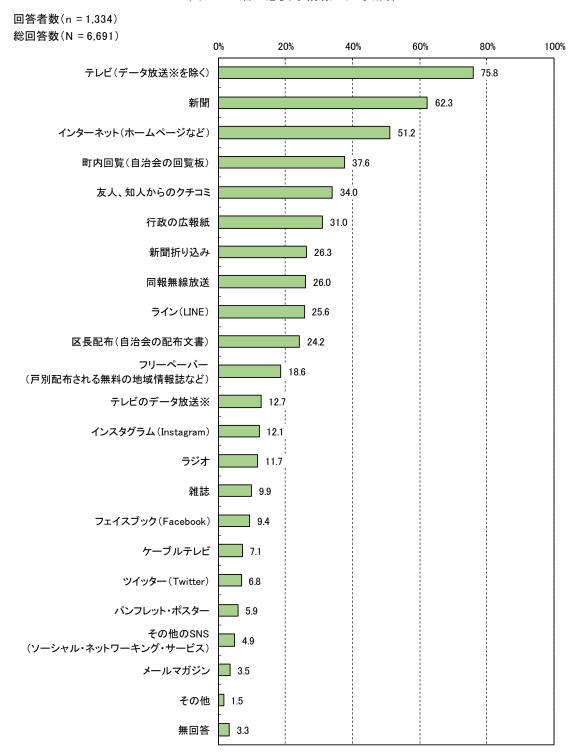
問4 あなたが、今後の暮らしの中で重視していきたいと思うことは何ですか。(3つまで)

図4 今後の暮らしの中で重視していきたいこと



問5 あなたは、生活に必要な情報を何から得ていますか。(いくつでも)

図5 生活に必要な情報の入手媒体

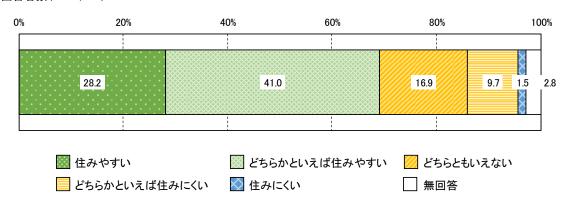


※ データ放送: リモコンの「dボタン」を押すと天気やニュースなどの情報を入手できるサービス

問6 現在住んでいる地域は住みやすいか

問6 あなたにとって、現在お住まいの地域は住みやすいですか。(1つだけ)

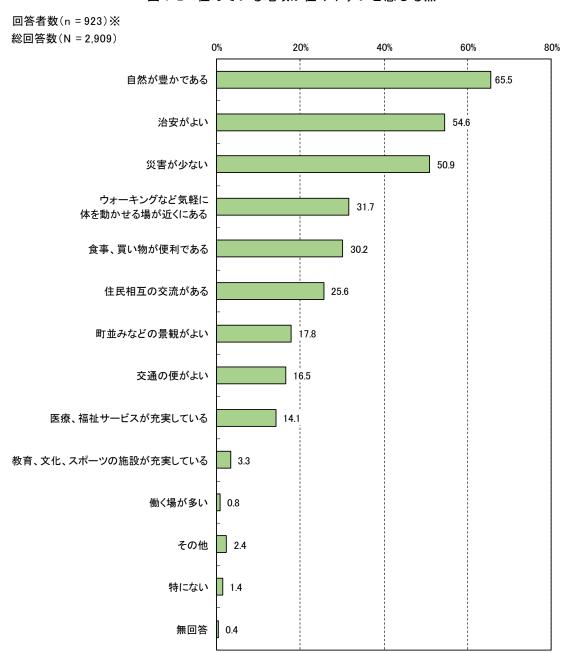
図 6 現在住んでいる地域は住みやすいか



問6-2 住んでいる地域が住みやすいと感じる点

問6-2 「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と答えた方にお尋ねします。 あなたが、現在お住まいの地域が住みやすいと感じるのは、特にどのような点で すか。(いくつでも)

図 6-2 住んでいる地域が住みやすいと感じる点

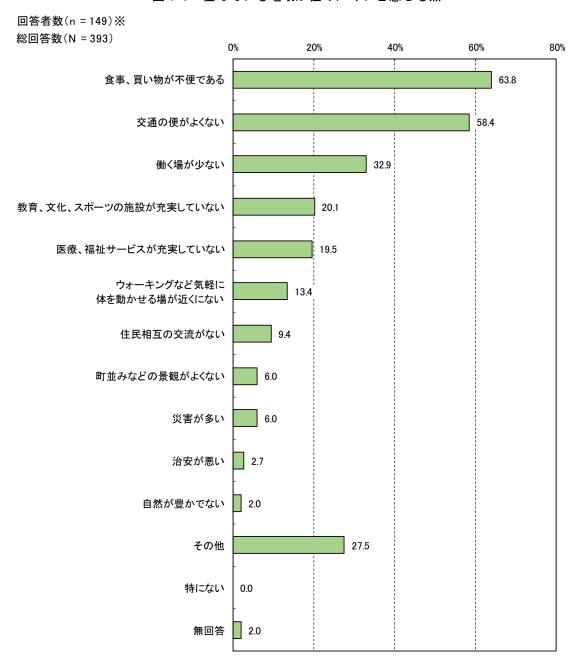


※ 問 6 で「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と答えた方のみ

問6-3 住んでいる地域が住みにくいと感じる点

問6-3 「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」と答えた方にお尋ねします。 あなたが、現在お住まいの地域が住みにくいと感じるのは、特にどのような点で すか。(いくつでも)

図 6-3 住んでいる地域が住みにくいと感じる点

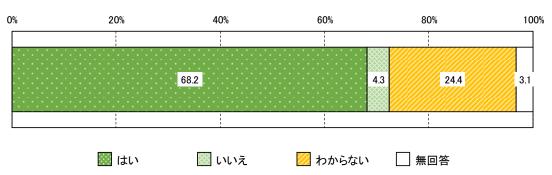


※ 問 6 で「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」と答えた方のみ

問7 今後も飛騨市に住み続けたいか

問7 あなたは、今後も飛騨市に住み続けたいと思いますか。(1つだけ)

図7 今後も飛騨市に住み続けたいか

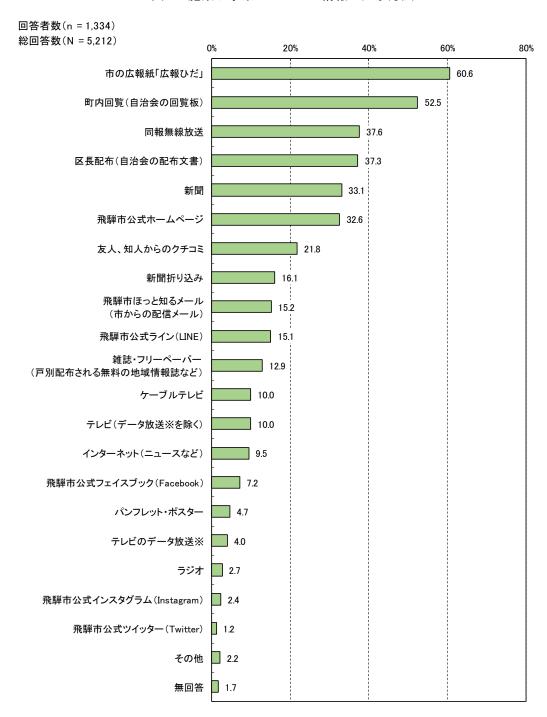


2. 2 市の取組み全般について

問8 施策や事業についての情報の入手方法

問8 あなたは、飛騨市(行政)の施策や事業を、何によって知ることが多いですか。 (いくつでも)

図8 施策や事業についての情報の入手方法

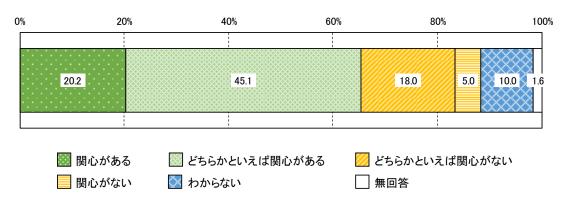


※ データ放送: リモコンの「dボタン」を押すと天気やニュースなどの情報を入手できるサービス

問9 市事業への関心の有無

問9 あなたは、飛騨市(行政)の事業やその進め方について、関心をお持ちですか。 (1つだけ)

図9 市事業への関心の有無

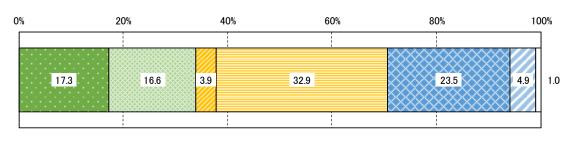


問9-2 市事業に関心がない理由

問9-2 「どちらかといえば関心がない」「関心がない」と答えた方にお尋ねします。 あなたが、飛騨市(行政)の事業やその進め方に関心がないのは、どのような 理由からですか。(1つだけ)

図 9-2 市事業に関心がない理由

回答者数(n = 307)※



- 市の行政そのものに興味がないから
- 市がどのような仕事をしているのか知らないから
- ☑ 市の仕事は、自分に関係がないから
- 市の施設を利用したり、市の仕事に接する機会が少なかったりするから
- ☑ 自分たちの意見が反映されるとは思えないから
- ☑ その他
- 無回答

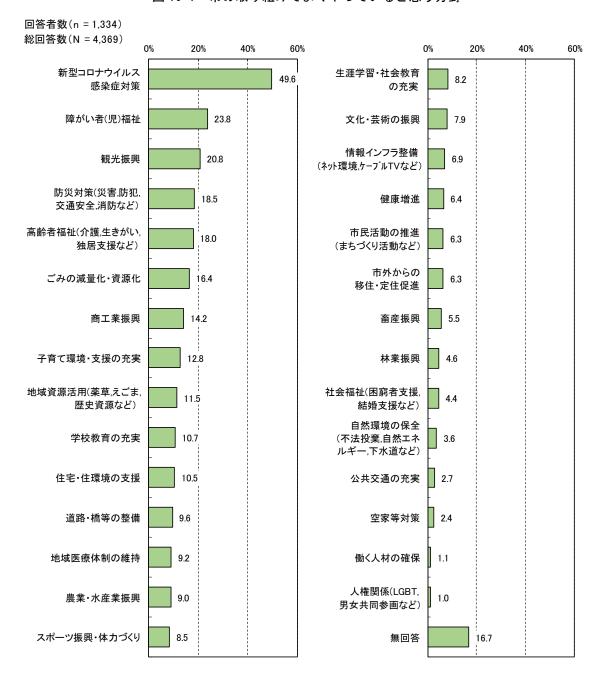
※ 問9で「どちらかといえば関心がない」「関心がない」と答えた方のみ

問10 市の取り組みで(1)よくやっていると思う分野、(2)努力が足りないと思う分野、(3)今後、市が重点的に進めるべきだと思う分野

問10 あなたが、市の取り組みについてよくやっていると思う分野、努力が足りないと 思う分野、今後、市が重点的に進めるべきだと思う分野は、どの分野ですか。 (それぞれ5つまで)

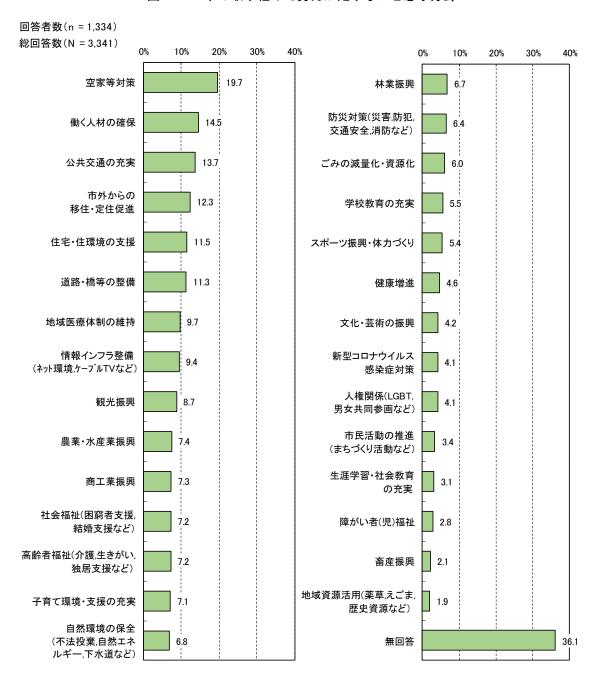
(1) 市の取り組みでよくやっていると思う分野

図 10-1 市の取り組みでよくやっていると思う分野



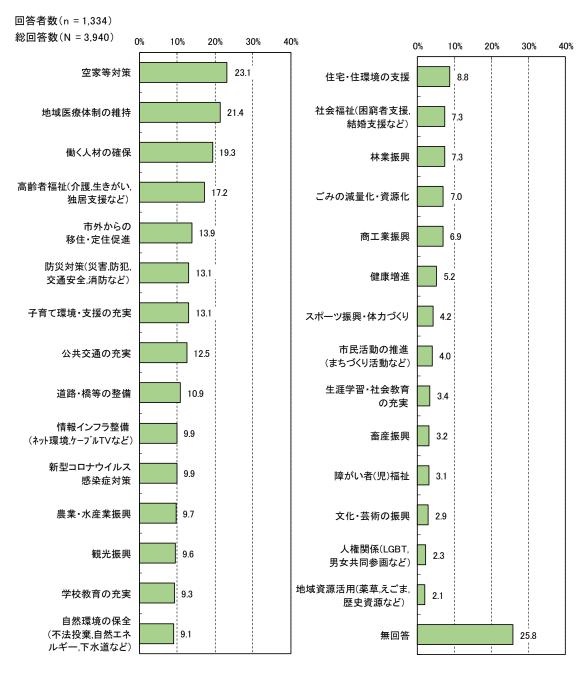
(2) 市の取り組みで努力が足りないと思う分野

図 10-2 市の取り組みで努力が足りないと思う分野



(3) 市の取り組みで重点的に進めるべきだと思う分野

図 10-3 市の取り組みで重点的に進めるべきだと思う分野



3. 2 調査票

7 介護

令和3年度 飛騨市 市政世論調査 調 査 票

問I	あ	なたやあなたの家庭の暮ら	し向]き(家計など)は、去年の今頃と比べてどうですか。
	次	【の中からⅠつだけ○をつけ	けてく	、ださい。 なださい。
	1	楽になった		
	2	変わらない		
	3	苦しくなった		
	4	わからない		
問1	-2	「3 苦しくなった」に〇	をつ	けた方にお尋ねします。
		あなたが、暮らしが苦しく	なっ	ったと感じるのは、どのような理由からですか。
		次の中から3つまで〇をつ	けて	てください。
	ı	給料等の収入が増えない、	ま <i>†</i>	らは減った
	2	食品や日用品、光熱費など	ごの特	勿価上昇による支出が増えた
	3	医療・介護費の支出が増え	えた	
	4	保育・教育費の支出が増え	えた	
	5	税金の支出が増えた		
	6	各種保険料などの支出が均	曽え <i>†</i>	
	7	その他()
	8	わからない		
問2				E活環境など)についてどう思いますか。 ・・・・
		ての中から1つだけ○をつい	けてく	ください。
		十分満足している		
		おおむね満足している		
		まだまだ不満だ		
		きわめて不満だ		
	5	わからない		
nn -				
問3				<u>どのようなことに悩みや不安を</u> 感じていますか。
		くの中から3つまで○をつり		
		VC/AC 11/3		家庭での人間関係
		収入・貯蓄		地域での人間関係
	3	仕事		住宅
	4	就職		地域の住環境(上下水道、公園、道路、公共交通機関など)
	5	結婚		その他(
	6	子育て・子どもの教育	13	行にない こうしゅうしゅう

問4 あなたが、今後の暮らしの中で重視していきたいと思うことは何ですか。 次の中から3つまで○をつけてください。

- l 健康・体力づくり
- 9 家族の介護
- 2 家計の安定・充実
- 10 子育て・子どもの教育
- 3 知識や教養の向上
- || 衣・食生活の充実
- 4 社会的地位の向上
- 12 住まいの改善・充実
- 5 仕事(家業・学業を含む) 13 老後の生活への準備
- 6 趣味・レジャー
- 14 その他(
- 7 ボランティアや地域活動 I5 特にない
- 8 家族との団らん

問5 あなたは、生活に必要な情報を何から得ていますか。 次の中からいくつでも○をつけてください。

- I テレビ(データ放送*を除く)
- 2 ケーブルテレビ
- 3 テレビのデータ放送*

※データ放送:リモコンの「dボタン」を押すと天気 やニュースなどの情報を入手できるサービス

)

- 4 ラジオ
- 5 インターネット (ホームページなど)
- 6 メールマガジン
- 7 ライン (LINE)
- 8 フェイスブック (FaceBook)
- 9 ツイッター (Twitter)
- 10 インスタグラム (Instagram)
- II その他の SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス)
- 12 新聞
- 13 新聞折り込み
- 14 雑誌
- 15 フリーペーパー (戸別配布される無料の地域情報誌など)
- 16 区長配布(自治会の配布文書)
- 17 町内回覧(自治会の回覧板)
- 18 行政の広報紙
- 19 同報無線放送
- 20 パンフレット、ポスター
- 21 友人、知人からのクチコミ
- 22 その他(

問6 あなたにとって、現在お住まいの地域は住みやすいですか。 次の中からⅠつだけ○をつけてください。

- Ⅰ 住みやすい
- 2 どちらかといえば住みやすい
- 3 どちらともいえない
- 4 どちらかといえば住みにくい
- 5 住みにくい

)

問 6-2	٦ ا	住み	やすい	2 ٦	どちら	らかとい	ハえば住	主みや?	すい」	につる	とつけ	た方に	こお尋ね	ねしま	ŧす。
	あなた	が、	現在お	注まい	の地域	が住み	やすい	と感じ	ごるの に	は、特	fにど(のよう	な点で	ごすか	٠,
	次の中	から	いくつ	でもこ)をつけ	てくた	ぎさい。								

- Ⅰ 自然が豊かである
- 2 町並みなどの景観がよい
- 3 ウォーキングなど気軽に体を動かせる場が近くにある
- 4 食事、買い物が便利である
- 5 交通の便がよい
- 6 働く場が多い
- 7 教育、文化、スポーツの施設が充実している
- 8 医療、福祉サービスが充実している
- 9 住民相互の交流がある
- 10 治安がよい
- || 災害が少ない
- 12 その他(
- 13 特にない

問 6-3 <u>「4 どちらかといえば住みにくい」「5 住みにくい」に○をつけた方にお尋ねします。</u> あなたが、現在お住まいの地域が住みにくいと感じるのは、特にどのような点ですか。 次の中からいくつでも○をつけてください。

- Ⅰ 自然が豊かでない
- 2 町並みなどの景観がよくない
- 3 ウォーキングなど気軽に体を動かせる場が近くにない
- 4 食事、買い物が不便である
- 5 交通の便がよくない
- 6 働く場が少ない
- 7 教育、文化、スポーツの施設が充実していない
- 8 医療、福祉サービスが充実していない
- 9 住民相互の交流がない
- 10 治安が悪い
- || 災害が多い
- 12 その他(
- 13 特にない

問7 あなたは、<u>今後も飛騨市に住み続けたい</u>と思いますか。 次の中からⅠつだけ○をつけてください。

- 1 はい
- 2 いいえ
- 3 わからない

)

問8	あなたは、	飛騨市	(行政)	の施策や事業を、	何によって知	ロることが	多いで	゚゙すか。
	次の中から	いくつ	でもつを	つけてください。				

- I テレビ (データ放送**を除く)
- 2 ケーブルテレビ
- 3 テレビのデータ放送**

4 ラジオ

※データ放送:リモコンの「d ボタン」を押すと天気 やニュースなどの情報を入手できるサービス

- 5 インターネット (ニュースなど)
- 6 飛騨市公式ホームページ
- 7 飛騨市ほっと知るメール(市からの配信メール)
- 8 飛騨市公式ライン (LINE)
- 9 飛騨市公式フェイスブック (FaceBook)
- 10 飛騨市公式ツイッター (Twitter)
- II 飛騨市公式インスタグラム (Instagram)
- 12 新聞
- 13 新聞折り込み
- 14 雑誌・フリーペーパー (戸別配布される無料の地域情報誌など)
- 15 区長配布 (町内会の配布文書)
- 16 町内回覧(自治会の回覧板)
- 17 市の広報紙「広報ひだ」
- 18 同報無線放送
- 19 パンフレット、ポスター
- 20 友人、知人からのクチコミ
- 21 その他(

問9 あなたは、<u>飛騨市(行政)の事業やその進め方</u>について、関心をお持ちですか。 次の中からⅠつだけ○をつけてください。

- Ⅰ 関心がある
- 2 どちらかといえば関心がある
- 3 どちらかといえば関心がない
- 4 関心がない
- 5 わからない
- 問 9-2 「3 どちらかといえば関心がない」「4 関心がない」に○をつけた方にお尋ねします。 あなたが、飛騨市(行政)の事業やその進め方に関心がないのは、どのような理由からで すか。次の中から | つだけ○をつけてください。

)

- Ⅰ 市の行政そのものに興味がないから
- 2 市がどのような仕事をしているのか知らないから
- 3 市の仕事は、自分に関係がないから
- 4 市の施設を利用したり、市の仕事に接する機会が少なかったりするから
- 5 自分たちの意見が反映されるとは思えないから
- 6 その他()

問 IO 次の表にある I から 29 の分野に関する市の取り組みについて、(I) 市がよくやっていると 思う分野、(2)市の努力が足りないと思う分野、(3)今後、市が重点的に進めるべきだと思う 分野に、それぞれ5つまで○をつけてください。

	 分 野	(I) <u>よくやって</u> いると思う分野 (5つまで○)	(2)努力が足り ないと思う分野 (5つまで○)	(3) <u>重点的に進め</u> るべきだと思う 分野 (5つまで○)
Т	農業・水産業振興	(3,12,0)	(3,2,4,0)	(3)2(0)
	畜産振興			
	林業振興			
_	商工業振興			
	観光振興			
_	道路・橋等の整備			
7	情報インフラ整備(ネット環境, ケーブル TV など)			
8	住宅・住環境の支援			
9	学校教育の充実			
10	生涯学習・社会教育の充実			
11	スポーツ振興・体力づくり			
12	文化・芸術の振興			
13	防災対策(災害,防犯,交通安全,消防など)			
14	公共交通の充実			
15	空家等対策			
16	新型コロナウイルス感染症対策			
17	市民活動の推進(まちづくり活動など)			
18	市外からの移住・定住促進			
19	地域資源活用(薬草,えごま,歴史資源など)			
20	子育て環境・支援の充実			
21	障がい者(児)福祉			
22	社会福祉(困窮者支援,結婚支援など)			
23	高齢者福祉(介護,生きがい,独居支援など)			
24	地域医療体制の維持			
25	健康増進			
26	人権関係(LGBT,男女共同参画など)			
27	自然環境の保全(不法投棄,自然エネルギー,下水道など)			
28	ごみの減量化・資源化			
29	働く人材の確保			

24 地域医療体制の維持			
25 健康増進			
26 人権関係(LGBT,男女共同参画など)			
27 自然環境の保全(不法投棄,自然エネルギー,下水道など)			
28 ごみの減量化・資源化			
29 働く人材の確保			
] 飛騨市の市政について、ご意見やご要望が <i>あ</i>	りましたらご自じ	由にご記入くださ	い 。
] 飛騨市の市政について、ご意見やご要望があ	りましたらご自じ	由にご記入くださ	ι·.
II 飛騨市の市政について、ご意見やご要望があ	5りましたらご自じ	由にご記入くださ	ιν _ο

ご自	由にご記入	ください。			

問 I2 新型コロナウイルス感染症に関して、生活、職場等で影響を受けていることがありましたら、

ありがとうございました。最後に、回答を統計的に分析するため、あなたご自身の ことについて次ページ以降にご記入をお願いします。

(注)以下でお答えいただいた内容はすべて統計的に処理いたしますので、**個人が特定されることはありません**。

■■ フェイスシート ■■

FI	l あなたの性別の番号に○をつけてください。 l 男性 2 女性	
F 2	2 あなたの年齢を記入してください。(回答日現在)	
	満	
	/IIII	
F3	3 あなたがお住まいの町名を記入してください。	
	あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。	
	I 古川町 2 河合町 3 宮川町 4 神岡町	
	4 あなたのお住まいの地域は、次のどれにあたりますか。	
-	+ めなたのの圧ないの地域は、人のとれにめたりよりか。 あなたの感覚として、あてはまる番号にⅠつだけ○をつけてください。	
	のなたの窓見として、めてはよる番号に I フたい ○ と フいてくたさい。 I 農村地域 (周りに田畑がある市街地郊外など)	
	1	
	3 商業地域	
	4 住宅地域	
	4 任七地域 5 その他()	
	5 · { O/IE ()	
F 5	5 あなたは、飛騨市に通算して何年住んでいますか。	
	あてはまる番号にⅠつだけ○をつけてください。	
		Ł
F 6	6 あなたは、市外に住んだことがありますか。	
	あてはまる番号にⅠつだけ○をつけてください。	
	I ない 2 ある(通算5年未満) 3 ある(通算5年以上)	
F 7	7 今、実際に一緒に暮らしているご家族は、どのような形態ですか。	
	あてはまる番号にⅠつだけ○をつけてください。	
	 I I 人暮らし	
	2 世代(夫婦のみ)	
	3 2世代(親と子)	
	4 3世代(親と子と孫)	
	5 4世代(祖父母と親と子と孫)	
	6 その他()	
	,	

1	0歳~2歳	6	専門学校生、短大生、大学生(院生)
2	3歳~5歳	7	65 歳以上 75 歳未満の方
3	小学生	8	75 歳以上の方
4	中学生	9	上記の者はいない
5	高校生		
		L	
		まる	番号に1つだけ○をつけてください。
	自営業		
2			※自由業:一定の雇用関係によらず、勤務時間その他
3	- 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1		の制約を受けない職業。作家、弁護士、医師、会計士、 税理士、芸術家など。
4		>/. \由	
5		派道	
6	• -		
7			
8			`
9	その他()
→ (F ^Q	9 で、1、2、3、4、5とオ	ら答え	えの方にお尋ねします。)
FIO	その業種について、あてはまる	番号	に┃つだけ○をつけてください。
1	農業		10 卸売業、小売業
2	林業		II 金融業、保険業
3	漁業		12 不動産業、物品賃貸業
4	鉱業、採石業、砂利採取業		I3 宿泊業、飲食サービス業
5	建設業		14 教育、学習支援業
6	製造業		15 医療、福祉
7	電気・ガス・熱供給・水道業	ŧ	I6 サービス業(他に分類されないもの)
8	情報通信業		17 公務(他に分類されないものを除く)
9	運輸業、郵便業		18 その他()
→ (F	9 で、1、2、3、4、5、6	らとま	ら答えの方にお尋ねします。)
FII	あなたのお勤め先、通学先につ	いて	、あてはまる番号にⅠつだけ○をつけてください。
1	市内		
2	高山市		
3	富山市		
4	その他の市町村()
	n+1149-11-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-	.	
		封筒	に入れ、調査票をご返送ください。ご協力いただきまし
て、あり	りがとうございました。		

F8 あなたのご家族には、次のような方がいらっしゃいますか。 あなたも含めていくつでも \bigcirc をつけてください。